

---

## 第4章 ミドル・シニア調査

---



# 章目次

## 第4章 ミドル・シニア調査

1	回答者の属性	163
	性別	163
	圏域	163
	F 1 年齢（令和元年10月1日現在）	164
2	あなたご自身、お住まいについて	165
	問1 住まいの形態	165
	問2 現在の住まいは、今後介護が必要な状態になった場合に住み続けられる住まいか	166
	問3 住まいについて不便や不安を感じていること	167
3	日常生活について	169
	問4 現在の生活で不安を感じていること	169
	問5 65歳以降の働き方の希望	171
	問5-1 【仕事はしたいができない方】仕事はしたいができない理由	172
4	介護等について	173
	問6 介護が必要になっても、安心して、住み慣れた地域で暮らし続けるために必要なこと	173
	問7 介護が必要になった場合に希望する暮らし方	175
	問8 終末期迎える場所の希望	176
	問9 家族、又は身近な方の介護をしているか	177
	問9-1 【現在、介護をしていると回答した方】 今介護している人以外に他の人の介護や子育て等をしているか	178
	問9-2 【他の人の介護や子育て等をしている方】介護される人及び子ども等全員とその人数	179
	問10 高齢者施策、介護保険事業について、今後区に力を入れてほしいこと	181
	高齢者施策、介護保険事業について、今後区に力を入れてほしいこと「その他」 自由記述	184
	問11 高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）の認知度	186
5	認知症について	187
	問12 認知症について知っていること	187
	問13 認知症相談で利用すると思われる相談窓口	189
	問14 認知症に関する区の事業の認知度	191
	問15 認知症についての情報収集の方法	193
6	健康・介護予防について	195
	問16 現在の健康状態	195
	問17 健康の維持・増進のための取り組みの有無	195

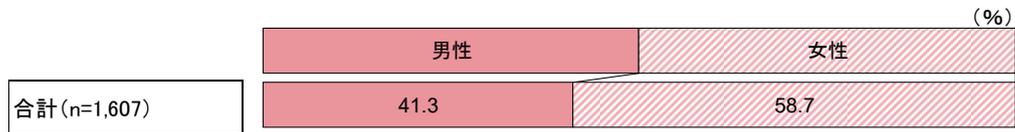
問 17-1	【健康維持・増進に取り組んでいない方】取り組んでいない主な理由	196
問 18	健康の維持・増進のため、今後取り組んでみたいこと	198
7	医療について	200
問 19	現在治療中、または後遺症のある病気の有無	200
問 20	かかりつけ医・歯科医・薬局の有無	202
8	地域での活動について	203
問 21	会・グループ等への参加	203
問 22	地域づくりを進める活動に参加者として参加したいか	206
問 23	地域づくりを進める活動に企画・運営（お世話役）として参加したいか	207
9	たすけあいについて	208
問 24	心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人	208
問 25	心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人	209
問 26	病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人	210
問 27	看病や世話をしてあげる人	211

## 1 回答者の属性

### 性別

性別は、「男性」41.3%、「女性」58.7%と、女性の割合が多くなっています。

図 4.1 性別



### 圏域

圏域は、「富坂地区」が32.4%、「大塚地区」が22.2%、「本富士地区」が22.0%、「駒込地区」が23.4%となっています。

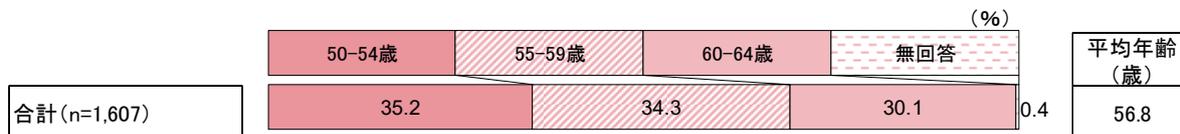
図 4.2 圏域



F 1 年齢（令和元年10月1日現在）

年齢は、「50～54歳」が35.2%、「55～59歳」が34.3%、「60～64歳」が30.1%で、平均年齢は56.8歳となっています。

図 4.3 年齢



男女及びいずれの圏域においても、平均年齢は57歳前後となっています。

図 4.4 年齢/性別/圏域別

単位：%

項目		回答者数 (人)	50   54 歳	55   59 歳	60   64 歳	無回答	平均年齢 (歳)
全体		1,607	35.2	34.3	30.1	0.4	56.8
性別	男性	664	32.8	34.9	32.2	0.0	57.0
	女性	943	36.9	33.8	28.6	0.6	56.7
圏域別	富坂地区	521	37.4	33.4	29.0	0.2	56.6
	大塚地区	356	32.3	37.4	30.1	0.3	57.0
	本富士地区	354	37.6	33.3	28.2	0.8	56.6
	駒込地区	376	32.7	33.5	33.5	0.3	57.2

## 2 あなたご自身、お住まいについて

### 問1 住まいの形態

住居形態は、「持家（一戸建て）」が 38.1%と最も高く、次いで「持家（集合住宅）」が 34.5%となっており、「持家（一戸建て）」と「持家（集合住宅）」を合わせた持家率は 72.6%となっています。

性別では、持家率は男性が 69.1%に対して、女性は 75.2%と女性の方が高くなっています。年齢別にみると、年齢が上がるにつれて持家率が上がっています。

圏域別にみると、持家率は「本富士地区」が 79.1%と最も高く、「富坂地区」は 63.5%と最も低くなっています。

図 4.5 住まいの形態

合計(n=1,607)	持家 (一戸建て)	持家 (集合住宅)	公営 賃貸住宅	民間 賃貸住宅 (一戸建て)	民間 賃貸住宅 (集合住宅)	借家	その他	無回答	
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
	38.1	34.5	1.1	1.2	20.3	2.4	2.1	0.1	0.1

※ その他【抜粋】 官舎・公舎（5件）、寮（3件）

図 4.6 住まいの形態/性別/年齢別/圏域別

単位：%

項目	回答者数 (人)	持家 (一戸建て)	持家 (集合住宅)	公営 賃貸住宅	民間 賃貸住宅 (一戸建て)	民間 賃貸住宅 (集合住宅)	借家	その他	無回答	
全体	1,607	38.1	34.5	1.1	1.2	20.3	2.4	2.1	0.1	
性別	男性	664	37.0	32.1	0.8	1.2	22.6	3.2	3.2	0.0
	女性	943	38.9	36.3	1.4	1.2	18.8	1.9	1.4	0.2
年齢別	50-54 歳	566	36.4	32.9	1.2	1.6	22.1	3.2	2.7	0.0
	55-59 歳	551	39.9	33.6	0.7	0.7	20.5	2.4	2.0	0.2
	60-64 歳	484	38.0	37.6	1.4	1.2	18.4	1.7	1.7	0.0
圏域別	富坂地区	521	29.9	33.6	1.0	1.9	25.9	3.8	3.5	0.4
	大塚地区	356	40.7	36.8	0.3	0.6	17.7	2.0	2.0	0.0
	本富士地区	354	36.7	42.4	1.7	0.6	16.1	1.1	1.4	0.0
	駒込地区	376	48.4	26.3	1.6	1.3	19.1	2.1	1.1	0.0

問2 現在の住まいは、今後介護が必要な状態になった場合に住み続けられる住まいか

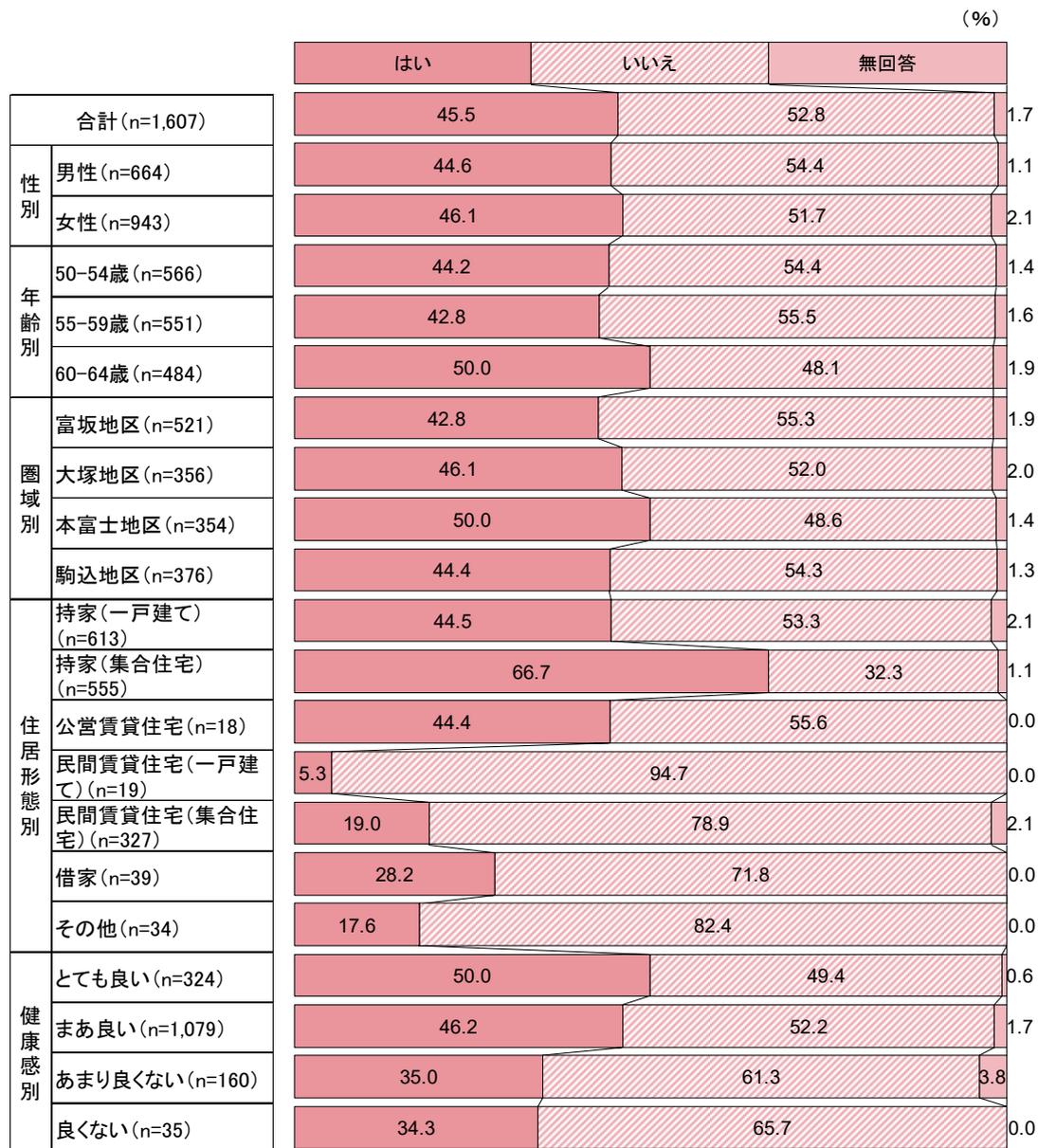
要介護状態となった時に現在の住まいに住み続けられるかに関しては、「はい」が45.5%、「いいえ」が52.8%となっています。

年齢別にみると、50～54歳と55～59歳は「はい」が40%台ですが、60～64歳は半数となっています。

住居形態別にみると、「民間賃貸住宅」で「はい」と回答している人の割合が低くなっています。

健康感別にみると、健康感が良くない人ほど「はい」の割合が低くなっています。

図 4.7 今後介護が必要な状態になった場合に住み続けられる住まいか / 性別/年齢別/圏域別/住居形態別/健康感別

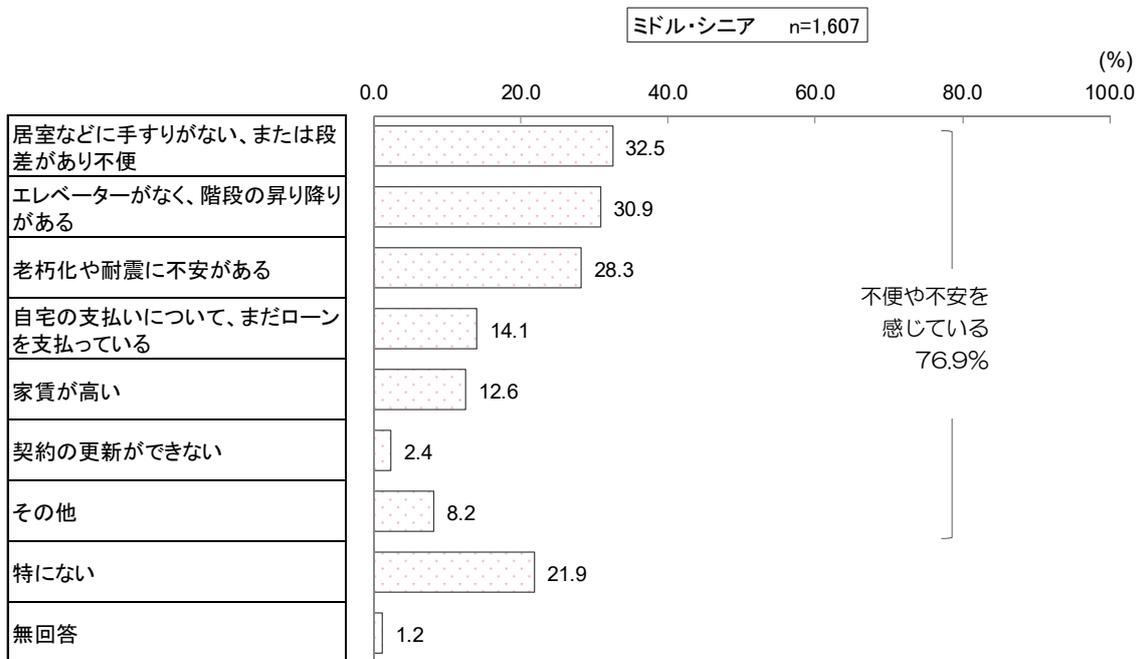


※ 「健康感」は、「問 16 現在の健康状態」の回答結果です。

## 問3 住まいについて不便や不安を感じていること

現在の住まいに関して不便や不安を感じている割合は76.9%で、その理由は「居室などに手すりがない、または段差があり不便」が32.5%と最も高く、次いで「エレベーターがなく、階段の昇り降りがある」が30.9%、「老朽化や耐震に不安がある」が28.3%となっています。住まいの設備・構造についての不便や不満が多くなっています。

図 4.8 住まいについて不便や不安を感じていること（いくつでも可）



※ その他【抜粋】固定資産税・相続税が高い、親の持家のため維持できるか・住み続けられるか不安  
 ※ 「不便や不安を感じている」=100%－「特にない」－「無回答」

性別では、女性は男性と比べて「老朽化や耐震に不安がある」の割合が高くなっています。  
 年齢別にみると、50～54 歳は「エレベーターがなく、階段の昇り降りがある」が最も高くなっていますが、55～59 歳、60～64 歳では「居室などに手すりがない、または段差があり不便」が最も高くなっています。  
 住居形態別にみると、持家（一戸建て）では「エレベーターがなく、階段の昇り降りがある」が、民間賃貸住宅（集合住宅）では「家賃が高い」が半数以上となっています。  
 健康感別にみると、健康状態を良くないと感じている人ほど、「居室などに手すりがない、または段差があり不便」、「老朽化や耐震に不安がある」と回答している人の割合が高くなっています。

図 4.9 住まいについて不便や不安を感じていること（いくつでも可）  
 /性別/年齢別/住居形態別/健康感別

単位：%

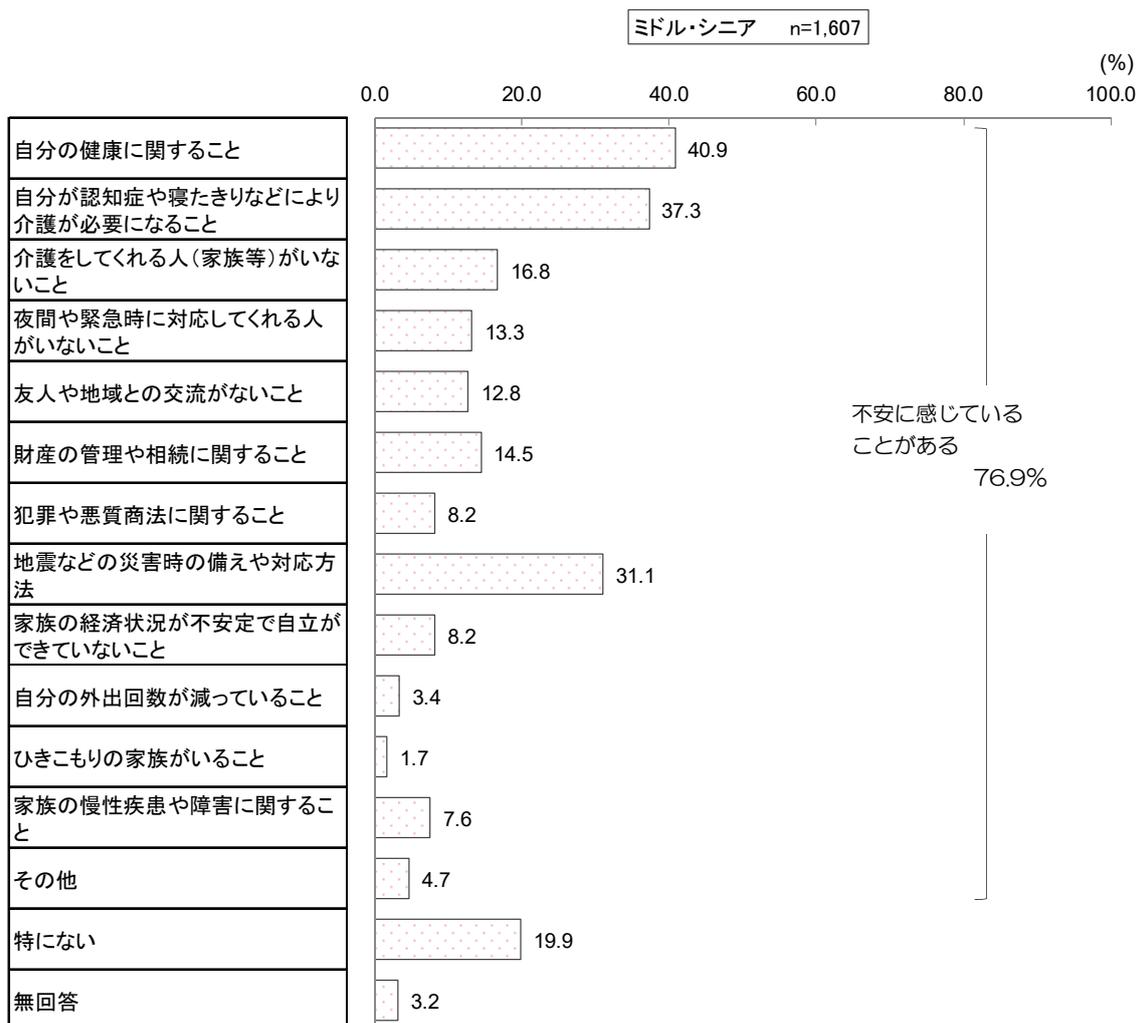
項目		回答者数(人)	居室などに手すりがない、 または段差があり不便	エレベーターがなく、階段 の昇り降りがある	老朽化や耐震に不安があ る	自宅の支払いについて、ま だローンを支払っている	家賃が高い	契約の更新ができない	その他	特 に な い	無 回 答
全 体		1,607	32.5	30.9	28.3	14.1	12.6	2.4	8.2	21.9	1.2
性別	男 性	664	30.3	30.3	24.7	16.4	12.7	3.5	6.5	22.0	1.2
	女 性	943	34.1	31.3	30.9	12.4	12.6	1.7	9.3	21.8	1.3
年齢別	50-54 歳	566	31.6	32.0	29.9	17.0	15.2	3.2	8.7	18.9	1.6
	55-59 歳	551	33.8	30.1	29.8	14.5	12.5	2.5	8.5	19.1	1.1
	60-64 歳	484	32.6	30.8	25.2	10.1	9.9	1.4	7.0	28.3	0.8
住居形態別	持家(一戸建て)	613	35.2	55.5	32.3	16.0	0.0	0.2	7.3	17.1	1.0
	持家(集合住宅)	555	31.4	10.5	24.0	22.0	0.5	0.0	9.2	31.9	1.6
	公営賃貸住宅	18	50.0	22.2	50.0	0.0	11.1	11.1	11.1	0.0	0.0
	民間賃貸住宅 (一戸建て)	19	31.6	36.8	47.4	5.3	42.1	10.5	15.8	5.3	0.0
	民間賃貸住宅 (集合住宅)	327	29.4	22.0	25.1	0.9	53.2	8.3	8.0	16.8	0.3
	借家	39	33.3	17.9	41.0	0.0	33.3	5.1	0.0	15.4	0.0
	その他	34	26.5	23.5	23.5	5.9	8.8	14.7	11.8	23.5	5.9
健康感別	とても良い	324	26.5	27.8	21.9	11.4	7.7	2.5	5.9	31.8	1.2
	まあ良い	1,079	33.9	30.6	28.3	15.5	13.1	2.3	8.2	20.9	1.3
	あまり良くない	160	34.4	40.0	35.6	11.3	16.9	3.1	11.9	10.6	0.0
	良くない	35	40.0	25.7	48.6	5.7	20.0	2.9	11.4	20.0	2.9

### 3 日常生活について

#### 問4 現在の生活で不安に感じていること

現在の生活で不安に感じていることがある割合は76.9%で、「自分の健康に関すること」が40.9%と最も高く、次いで「自分が認知症や寝たきりなどにより介護が必要になること」が37.3%、「地震などの災害時の備えや対応方法」が31.1%となっています。「特にない」は19.9%です。

図 4.10 現在の生活で不安に感じていること（いくつでも可）



※ その他【抜粋】 家族の健康、親の介護、収入・経済面  
 ※ 「不安に感じていることがある」=100%－「特にない」－「無回答」

性別では、女性は「自分が認知症や寝たきりなどにより介護が必要になること」が41.5%と、男性の31.3%と比べて10ポイントほど高くなっています。

年齢別にみると、50～54歳、55～59歳は「自分の健康に関すること」が最も高くなっていますが、60～64歳では「自分が認知症や寝たきりなどにより介護が必要になること」の割合が増加し、「自分の健康に関すること」と同程度の割合となっています。

健康感別にみると、あまり良くない、良くないと回答した人は、「自分の健康に関すること」が最も高く、80%以上となっています。

図 4.11 現在の生活で不安に感じていること（いくつでも可）/性別/年齢別/健康感別

単位：%

項目		回答者数(人)	自分の健康に関すること	自分が認知症や寝たきりなどにより介護が必要になること	介護をしてくれる人(家族等)がいないこと	夜間や緊急時に対応してくれる人がいないこと	友人や地域との交流がないこと	財産の管理や相続に関すること	犯罪や悪質商法に関すること
全体		1,607	40.9	37.3	16.8	13.3	12.8	14.5	8.2
性別	男性	664	41.6	31.3	17.2	13.6	14.9	13.3	7.2
	女性	943	40.5	41.5	16.5	13.1	11.3	15.4	8.9
年齢別	50～54歳	566	43.3	36.4	16.6	13.4	14.1	15.4	10.2
	55～59歳	551	39.7	35.8	16.7	12.2	12.0	14.3	6.4
	60～64歳	484	39.7	40.1	17.1	14.7	12.4	13.6	7.9
健康感別	とても良い	324	13.9	28.1	12.3	8.0	4.3	7.4	5.2
	まあ良い	1,079	40.9	38.1	16.3	12.9	13.0	15.5	8.3
	あまり良くない	160	85.6	47.5	21.9	21.3	24.4	18.8	11.3
	良くない	35	88.6	54.3	48.6	34.3	37.1	28.6	17.1

項目		回答者数(人)	家族の経済状況が不安定で自立ができていないこと	自分の外出回数が減っていること	ひきこもりの家族がいること	家族の慢性疾患や障害に関すること	その他	特にない	無回答
全体		1,607	8.2	3.4	1.7	7.6	4.7	19.9	3.2
性別	男性	664	6.5	2.7	2.1	5.9	3.0	20.5	4.5
	女性	943	9.4	3.9	1.5	8.8	5.8	19.4	2.2
年齢別	50～54歳	566	9.0	4.9	2.1	7.8	4.8	20.8	3.0
	55～59歳	551	7.1	2.2	1.3	8.5	5.6	18.5	3.8
	60～64歳	484	8.5	3.1	1.9	6.4	3.5	20.0	2.7
健康感別	とても良い	324	4.0	0.6	0.6	4.9	1.5	38.9	3.1
	まあ良い	1,079	7.8	2.3	1.8	7.5	4.8	17.7	3.1
	あまり良くない	160	15.6	9.4	1.3	8.8	8.8	1.3	2.5
	良くない	35	25.7	37.1	11.4	31.4	11.4	0.0	8.6

## 問5 65歳以降の働き方の希望

65歳以降の働き方は、「パートタイムでの勤務」を希望する割合が36.4%と最も高く、次いで「フルタイムでの勤務」が26.9%、「仕事はしない」が19.9%となっています。

性別では、各年代とも男性は「フルタイムでの勤務」を、女性は「パートタイムでの勤務」を希望する割合が最も高くなっています。

男性、女性とも、いずれの年代においても、勤務を希望する割合（「フルタイムでの勤務」と「パートタイムでの勤務」のいずれかを希望）が50%以上となっています。

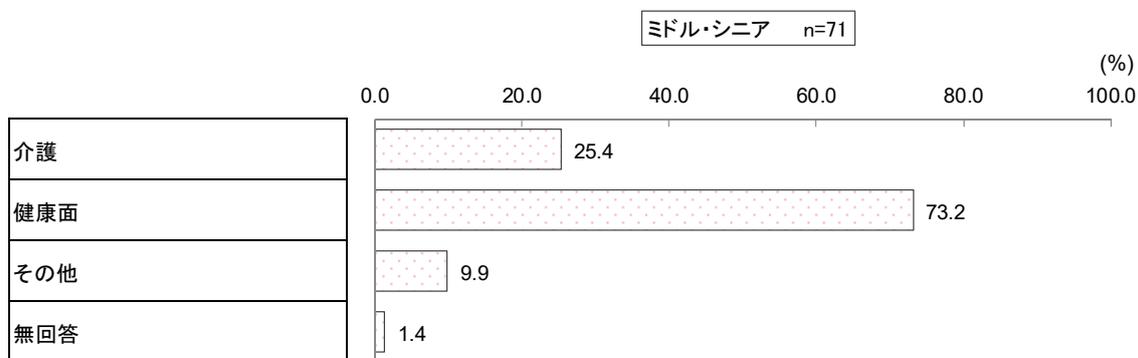
図 4.12 65歳以降の働き方の希望/性年齢別

		(%)					
		フルタイム での勤務	パートタイム での勤務	いきがい 就業	仕事はしたい が、できない	仕事はしない	無回答
合計 (n=1,607)		26.9	36.4	8.6	4.4	19.9	3.9
男性	男性50-54歳 (n=218)	49.1	23.9	7.8	1.8	12.4	5.0
	男性55-59歳 (n=232)	38.4	29.3	6.0	1.3	19.4	5.6
	男性60-64歳 (n=214)	40.2	25.7	11.7	3.3	15.4	3.7
女性	女性50-54歳 (n=348)	17.2	50.3	7.2	5.7	16.7	2.9
	女性55-59歳 (n=319)	16.9	41.1	8.5	7.5	22.3	3.8
	女性60-64歳 (n=270)	13.3	37.4	11.1	4.8	30.4	3.0

問5-1 【仕事はしたいができない方】仕事はしたいができない理由

仕事はしたいができないと回答した人の理由としては、「健康面」が73.2%と最も多く、次いで「介護」が25.4%となっています。

図 4.13 【仕事はしたいができない方】仕事はしたいができない理由（いくつでも可）



※ その他【抜粋】 働く場所がない

図 4.14 【仕事はしたいができない方】仕事はしたいができない理由（いくつでも可）/性年齢別

単位：%

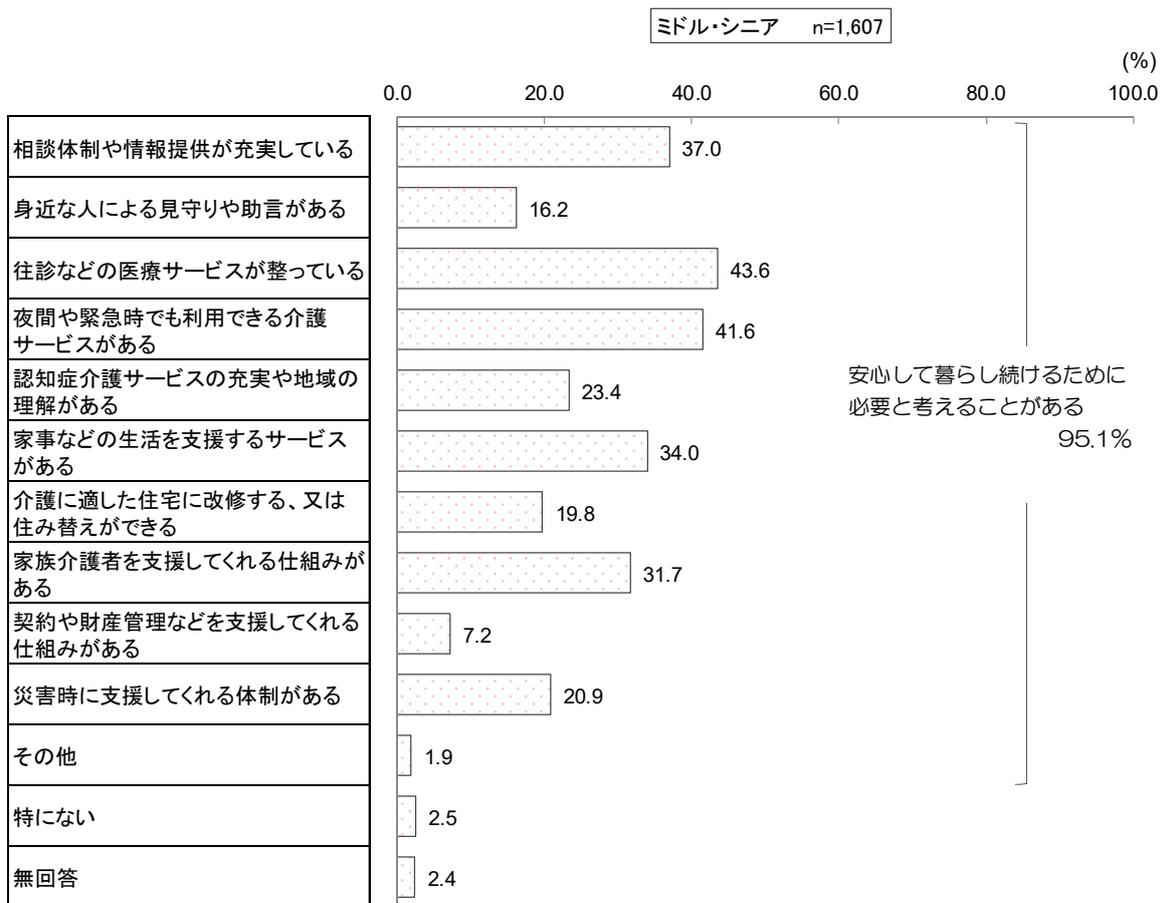
項目		回答者数(人)	介護	健康面	その他	無回答
全体		71	25.4	73.2	9.9	1.4
男性	50-54 歳	4	25.0	100.0	0.0	0.0
	55-59 歳	3	33.3	66.7	33.3	0.0
	60-64 歳	7	0.0	85.7	14.3	0.0
女性	50-54 歳	20	35.0	75.0	10.0	0.0
	55-59 歳	24	29.2	62.5	8.3	4.2
	60-64 歳	13	15.4	76.9	7.7	0.0

## 4 介護等について

## 問6 介護が必要になっても、安心して、住み慣れた地域で暮らし続けるために必要なこと

介護が必要になっても、住み慣れた地域で暮らし続けるために必要と考えることは、「往診などの医療サービスが整っている」が43.6%と最も高く、次いで「夜間や緊急時でも利用できる介護サービスがある」が41.6%、「相談体制や情報提供が充実している」が37.0%となっています。

図 4.15 介護が必要になっても、安心して、住み慣れた地域で暮らし続けるために必要なこと（3つまで可）



※ その他【抜粋】経済的な負担の減少、相談できる場所、地域の人との交流

※ 「安心して、暮らし続けるために必要と考えることがある」=100%－「特にない」－「無回答」

性別では、女性は「夜間や緊急時でも利用できる介護サービスがある」が45.2%と最も高く、男性と比べても9ポイントほど高くなっています。

年齢別にみると、50～54歳は「認知症介護サービスの充実や地域の理解がある」、「家事などの生活を支援するサービスがある」の割合が55～59歳、60～64歳と比べて5ポイント以上高くなっています。

図 4.16 介護が必要になっても、安心して、住み慣れた地域で暮らし続けるために必要なこと（3つまで可）/性別/年齢別

単位：%

項目		回答者数(人)	相談体制や情報提供が充実している	身近な人による見守りや助言がある	往診などの医療サービスが整っている	夜間や緊急時でも利用できる介護サービスがある	認知症介護サービスの充実や地域の理解がある	家事などの生活を支援するサービスがある	介護に適した住宅に改修する、又は住み替えができる
全体		1,607	37.0	16.2	43.6	41.6	23.4	34.0	19.8
性別	男性	664	37.3	19.6	41.4	36.4	20.8	31.5	19.1
	女性	943	36.8	13.9	45.1	45.2	25.2	35.8	20.3
年齢別	50-54歳	566	37.1	16.4	44.9	40.8	27.0	39.0	19.8
	55-59歳	551	33.4	17.4	42.3	42.8	21.6	30.9	22.3
	60-64歳	484	41.3	14.7	43.4	40.9	20.9	32.0	16.9

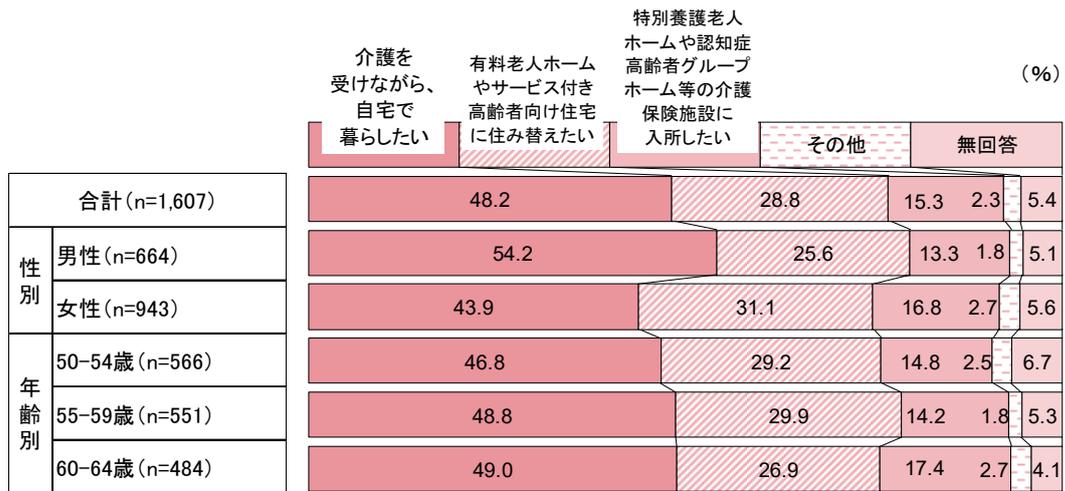
項目		回答者数(人)	家族介護者を支援してくれる仕組みがある	契約や財産管理などを支援してくれる仕組みがある	災害時に支援してくれる体制がある	その他	特にない	無回答
全体		1,607	31.7	7.2	20.9	1.9	2.5	2.4
性別	男性	664	30.0	7.8	21.2	1.7	2.9	3.3
	女性	943	32.9	6.7	20.7	2.0	2.2	1.8
年齢別	50-54歳	566	32.5	7.4	21.6	2.7	1.2	2.1
	55-59歳	551	32.5	5.8	18.3	1.1	2.9	2.7
	60-64歳	484	29.5	8.5	22.9	1.9	3.5	2.5

問7 介護が必要になった場合に希望する暮らし方

介護が必要になった場合に希望する暮らし方としては、「介護を受けながら、自宅で暮らしたい」が48.2%と半数近くとなっています。

性別では、男性は女性と比べて「介護を受けながら、自宅で暮らしたい」の割合が高く、54.2%となっています。一方、女性では「有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅に住み替えたい」（31.1%）、「特別養護老人ホームや認知症高齢者グループホーム等の介護保険施設に入所したい」（16.8%）の割合が男性より高くなっています。

図 4.17 介護が必要になった場合に希望する暮らし方/性別/年齢別



※ その他【抜粋】 高齢者の住めるシェアハウス、異世代とのシェアハウス、介護の程度・収入で希望が違う、他の人に迷惑をかけた暮らし方

(注) サービス付き高齢者向け住宅…高齢者の居住の安定を確保することを目的として、バリアフリー構造等を有し、介護・医療と連携し高齢者を支援するサービスを提供する、都知事への登録をした住宅

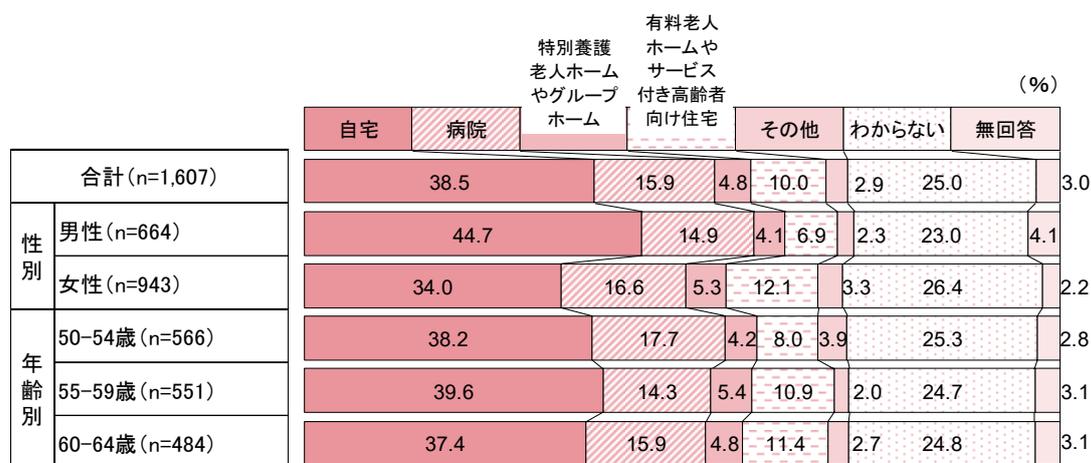
## 問8 終末期迎える場所の希望

終末期を迎える場所としては、「自宅」の希望が38.5%と最も高くなっています。一方、「わからない」は25.0%と、イメージできていない人も一定割合存在しています。

性別では、男性は女性と比べて「自宅」を希望する割合が高く、女性は「自宅」が最も高いものの「有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅」が12.1%と、男性と比べて5ポイントほど高くなっています。

年齢別にみると、緩やかではありますが、年齢が上がるにつれて「有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅」の割合が増加しています

図 4.18 終末期迎える場所の希望/性別/年齢別



※ その他【抜粋】 どこでもよい、ホスピス、自然環境の良いところ

(注) 終末期…治療で回復の見込みがなく、数週間～数か月のうちに死亡するだろうと予期される状態になった時期

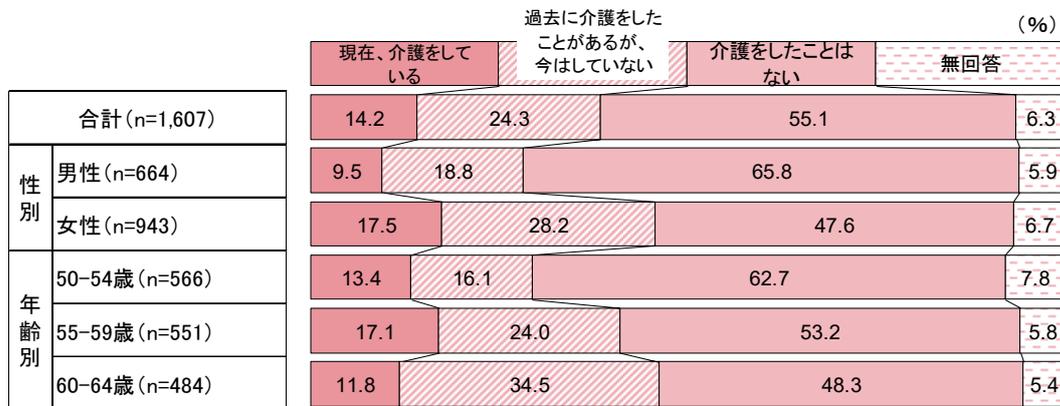
## 問9 家族、又は身近な方の介護をしているか

ご家族、または身近な人を「現在、介護をしている」人は14.2%、「過去に介護をしたことがあるが、今はしていない」は24.3%と、2つをあわせた「介護経験あり」は38.5%となっています。

性別では、女性は「現在、介護をしている」、「過去に介護をしたことがあるが、今はしていない」が、いずれも、男性と比べて5ポイント以上高く、「介護経験あり」は約半数の45.7%となっています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて、「介護経験あり」の割合が増加し、60～64歳では46.3%にのぼっています。

図 4.19 家族、又は身近な方の介護をしているか/性別/年齢別

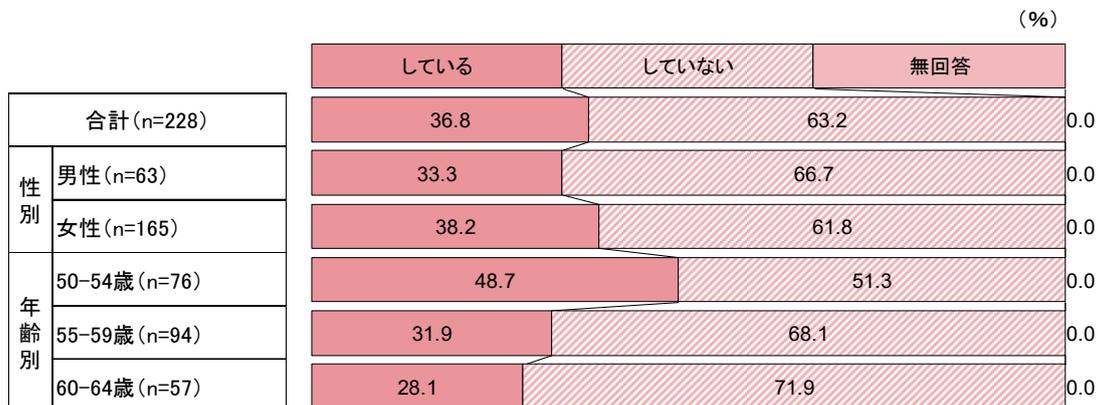


問9-1 【現在、介護をしていると回答した方】

今介護している人以外に他の人の介護や子育て等をしているか

今介護している人以外に他の人の介護や子育て等をしている人は36.8%となっています。  
 性別では、女性で高く、男性の33.3%に対し、38.2%となっています。  
 年齢別にみると、50～54歳で48.7%と半数弱となっています。

図 4.20 今介護している人以外に他の人の介護や子育て等をしているか/性別/年齢別



問9-2 【他の人の介護や子育て等をしている方】介護される人及び子ども等全員とその人数

今介護している人以外の介護や子育て等の対象としては、「親」が90.5%と大半を占めており、次いで「子」が41.7%、「配偶者」が20.2%となっています。  
 いずれの性年代においても、「親」が最多となっています。

図 4.21 介護される人及び子ども等全員とその人数（いくつでも可）

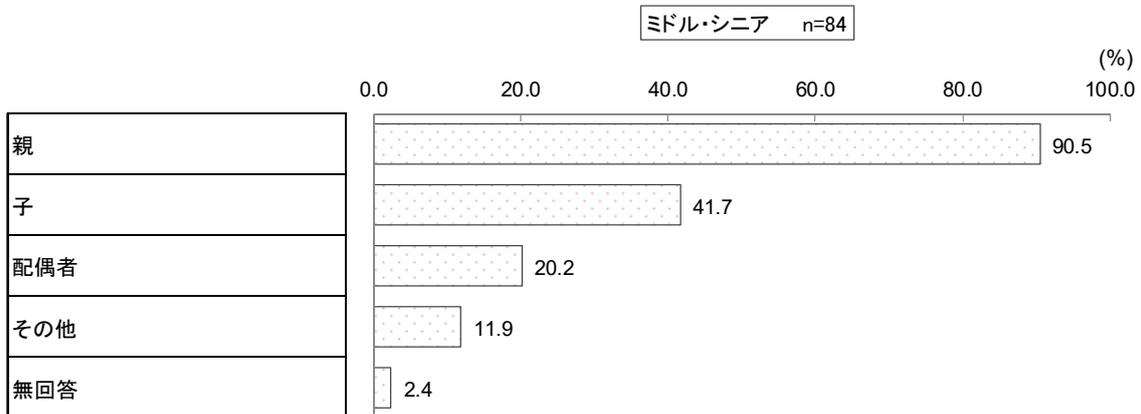


図 4.22 介護される人及び子ども等全員とその人数（いくつでも可）/性別/年齢別

単位: %

項目		回答者数(人)	親	子	配偶者	その他	無回答
全体		84	90.5	41.7	20.2	11.9	2.4
性別	男性	21	95.2	47.6	19.0	0.0	0.0
	女性	63	88.9	39.7	20.6	15.9	3.2
年齢別	50-54歳	37	94.6	56.8	21.6	13.5	2.7
	55-59歳	30	86.7	33.3	13.3	6.7	0.0
	60-64歳	16	87.5	18.8	25.0	18.8	6.3

今介護している人以外の対象として「親」をあげた人で、具体的な人数の回答のあった76人の平均人数は1.6人となっています。「子」の場合も平均1.6人、「その他」は平均1.9人となっています。

図 4.23 介護される人及び子ども等全員とその人数（平均人数）

項目	回答者数(人)	平均人数
親	76	1.6
子	35	1.6
その他	10	1.9

※ その他（抜粋） 伯母（2件）、兄、義姉、孫（2件）など

今介護している人以外の対象として、「親」、「配偶者」、「子」、「その他」をあげた人について、介護や子育てをしている人数の合計をみると、「2人」が39.3%と高くなっています。全体の平均人数は2.6人となっています。

図 4.24 介護される人及び子ども等全員とその人数

単位：%

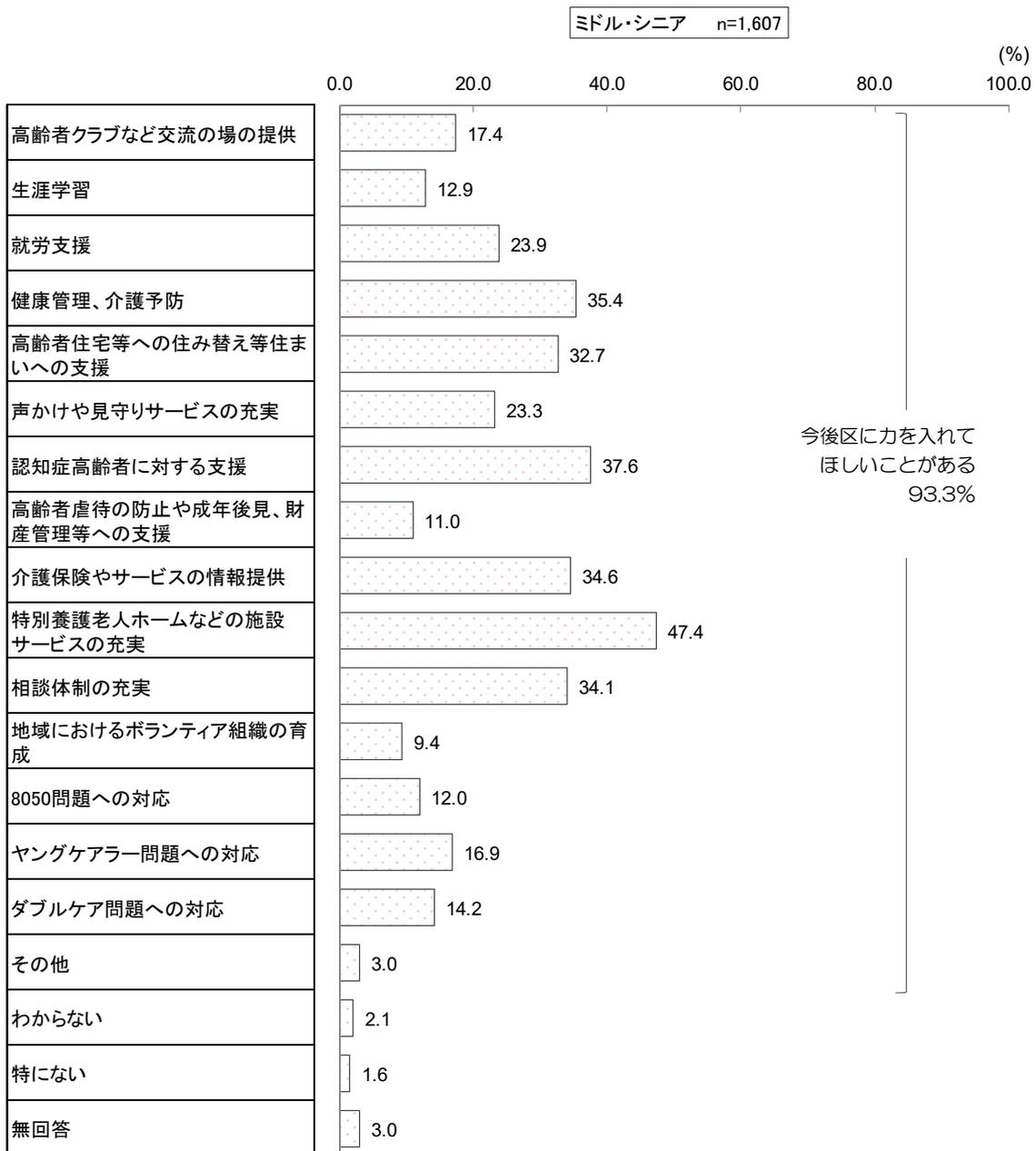
項目	回答者数(人)	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	無回答	平均値
介護される人及び子ども等の人数	84	23.8	39.3	11.9	10.7	6.0	4.8	0.0	0.0	1.2	2.4	2.6

## 問 10 高齢者施策、介護保険事業について、今後区に力を入れてほしいこと

今後区に力を入れてほしいこととしては、「特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実」が47.4%で最も高く、次いで「認知症高齢者に対する支援」が37.6%、「健康管理、介護予防」が35.4%となっています。また、「介護保険やサービスの情報提供」や、「相談体制の充実」、「高齢者住宅等への住み替え等住まいへの支援」も、30%を超えています。

また、「8050問題への対応」は12.0%、「ヤングケアラー問題への対応」は16.9%、「ダブルケア問題への対応」は14.2%となっています。

図 4.25 高齢者施策、介護保険事業について、今後区に力を入れてほしいこと（5つまで可）



※ 「今後区に力を入れてほしいことがある」=100%－「わからない」－「特にない」－「無回答」

性別、年齢別、圏域別、介護経験の有無別いずれにおいても、「特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実」が最も高く、40～50%台となっています（次ページ）。

性別では、男性は女性と比べて「就労支援」を、女性は男性と比べて「高齢者住宅等への住み替え等住まいへの支援」、「介護保険やサービスの情報提供」を期待する割合が、5ポイント以上高くなっています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「相談体制の充実」を求める割合が高く、60～64歳では39.7%となっています。

介護経験の有無別にみると、介護経験がある人は「特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実」、「ダブルケア問題への対応」が高く、介護経験がない人は「健康管理、介護予防」、「就労支援」、「高齢者クラブなど交流の場の提供」を期待する割合が5ポイント以上高くなっています。

また、「認知症高齢者に対する支援」は、性別、年齢別、圏域別、介護経験の有無別のいずれでも、すべての区分で30%台と高く、特に、圏域別では本富士地区（41.5%）で、介護経験の有無別では、介護経験ありの人（41.2%）で高くなっています。

「健康管理、介護予防」についても、性別、年齢別、圏域別、介護経験の有無別のいずれでも、すべての区分で30%台と高くなっています。

（注）8050問題とは……………80代の親と50代の子の親子関係を例えとして、親の高齢化や子どもの引きこもりの長期化に伴い、収入や介護などに関する問題が生じ、生活が困難な状態になること。

ヤングケアラー問題とは…子どもが家族の介護を行うことで重い負担を負い、子ども自身に影響を及ぼす問題。

ダブルケア問題とは……………高齢化、核家族化等により、子育て等と同時に介護を行うことで負担が増す問題。

図 4.26 高齢者施策、介護保険事業について、今後区に力を入れてほしいこと（5つまで可）  
/性別/年齢別/圏域別/介護経験の有無別

単位：%

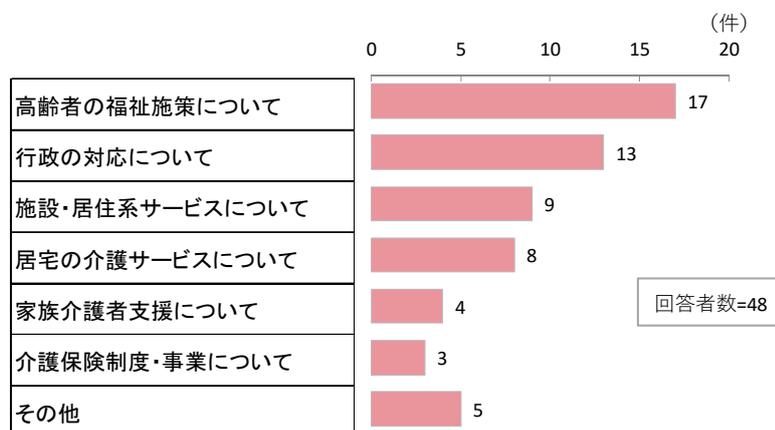
項目		回答者数(人)	高齢者クラブなど交流の場の提供	生涯学習	就労支援	健康管理、介護予防	高齢者住宅等への住み替え等住まいへの支援	声かけや見守りサービスの充実	認知症高齢者に対する支援	高齢者虐待の防止や成年後見、財産管理等への支援	介護保険やサービスの情報提供	特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実
全体		1,607	17.4	12.9	23.9	35.4	32.7	23.3	37.6	11.0	34.6	47.4
性別	男性	664	16.1	13.1	28.5	36.9	28.3	22.4	37.0	8.9	29.2	43.2
	女性	943	18.2	12.7	20.7	34.4	35.7	23.9	38.1	12.5	38.4	50.4
年齢別	50-54歳	566	20.5	13.3	26.7	34.6	33.4	26.0	38.2	11.8	32.7	44.9
	55-59歳	551	16.3	12.3	21.8	33.4	34.3	22.3	37.4	12.5	37.6	50.8
	60-64歳	484	14.7	13.2	23.3	38.6	29.8	21.3	37.0	8.5	33.7	46.5
圏域別	富坂地区	521	21.7	13.6	24.2	37.2	34.5	22.8	36.3	12.5	35.7	43.4
	大塚地区	356	14.6	13.2	21.9	33.1	29.2	23.3	36.2	11.5	32.3	47.8
	本富士地区	354	17.2	12.1	22.3	35.6	31.6	21.5	41.5	10.7	38.7	52.8
	駒込地区	376	14.1	12.2	26.9	34.8	34.3	25.5	37.2	8.8	31.4	47.6
介護経験の有無	介護経験あり	619	14.4	10.7	20.0	33.0	32.0	22.6	41.2	11.3	37.5	53.8
	介護経験なし	886	20.5	15.6	28.2	39.6	34.8	24.9	37.0	11.4	33.7	44.9

項目		回答者数(人)	相談体制の充実	地域の育成	8050問題への対応	ヤングケアラー問題への対応	ダブルケア問題への対応	その他	わからない	特にない	無回答
全体		1,607	34.1	9.4	12.0	16.9	14.2	3.0	2.1	1.6	3.0
性別	男性	664	31.3	7.8	11.3	13.9	12.2	2.9	2.9	2.0	4.1
	女性	943	36.1	10.5	12.5	19.1	15.6	3.1	1.6	1.3	2.2
年齢別	50-54歳	566	30.9	7.8	15.0	17.8	16.3	3.2	2.8	1.1	3.4
	55-59歳	551	32.7	9.4	10.9	15.8	12.5	2.9	2.5	1.5	2.7
	60-64歳	484	39.7	11.2	9.9	17.1	13.6	2.9	0.8	2.3	2.9
圏域別	富坂地区	521	35.3	8.6	10.0	16.3	12.3	2.5	2.5	1.5	2.5
	大塚地区	356	36.0	9.3	10.1	17.4	14.3	4.2	2.2	0.8	2.2
	本富士地区	354	33.6	10.5	13.6	19.2	15.0	3.4	2.3	2.0	2.5
	駒込地区	376	31.1	9.6	15.2	15.2	16.0	2.1	1.3	1.9	4.8
介護経験の有無	介護経験あり	619	33.8	10.7	14.1	19.7	17.9	4.5	2.1	1.1	0.5
	介護経験なし	886	36.2	9.1	10.6	15.2	11.9	2.0	2.3	1.8	0.5

## 高齢者施策、介護保険事業について、今後区に力を入れてほしいこと「その他」自由記述

高齢者施策、介護保険事業について、今後区に力を入れてほしいことの自由記述の意見では、「高齢者の福祉施策について」が17件、「行政の対応について」が13件、「施設・居住系サービスについて」が9件などとなっています。

図 4.27 高齢者施策、介護保険事業について、今後区に力を入れてほしいこと（自由記述）  
（複数回答）



### 主な記述

#### 1. 高齢者の福祉施策について 17件

- ◇スポーツ施設を無料で利用できる利用券を配布してほしいです。テニス場などの無料利用権などです。
- ◇子供と高齢者との交流、学童的な中に子どもの世話人など、子ども好きなお年寄りを入れるみたいな感じです。
- ◇介護を必要とした生活を少しでも遅らせることができるように、健康管理及び生活習慣の改善ができるシステム、半月ごとや、月一回などの健康診断を期待します。
- ◇個別対応でなく就労、介護、生活を総合的にみてもらえるような体制の構築や、相談される側への支援（人的、金銭的）を期待します。
- ◇地域との関係を保つために、町会などへ積極的参加を呼びかけてほしいです。
- ◇豊島区のようにボランティアもポイント化できるようにして、そのポイントを自分が介護を受ける時に使えると良いです。

#### 2. 行政の対応について 13件

- ◇高齢になるとバスを利用する事が多くなります。Bーぐるバスの路線を増やし、一方向の運行でなくしてほしいです。白山通りは都バスもないので、非常に不便です。
- ◇健康センターなど運動する施設に対する区の補助の充実と、区の運動への理解と推進を期待します。
- ◇介護、医療、就労、教育の各分野の担当者間で必要な連携・意思疎通をし、8050問題、ヤングケアラー問題、ダブルケア問題の具体的な実情に即応した最善の支援の選択ができるような仕組み・施策を進めてほしいです。

◇外国人への情報提供を充実してほしいです。

### 3. 施設・居住系サービスについて 9件

◇安く利用できる介護施設を区内に作ってほしいです。

◇グループホーム、ケアハウス（通常の高齢者向け）などの促進、支援をしてほしいです。特養だけでは難しいです。親をグループホームに入れると経営とケアのバランスを考えることになります。

◇家族が介護の主体になるしくみは限界があるため、老人ホームなどの施設に入所し、プロが介護することが現実的です。早急に、介護人材を育成する必要がありますし、介護を行う方々の給与水準の向上も必要です。

### 4. 居宅の介護サービスについて 8件

◇訪問診療を充実し、自宅で最後の看取りができる、サポート、オプションを充実してほしいです。

◇夜間、緊急時のスピーディーな対応や夜間のヘルパー応援を充実してほしいです。

### 5. 家族介護者支援について 4件

◇遠距離介護中です。JRの介護割引サービスがほしいです。

◇同じ住所に住んでいても、仕事を持って介護をしている人への支援、ヘルパーサービスの充実などを望みます。

### 6. 介護保険制度・事業について 3件

◇行政のしっかりとした介護認定の基準が全国共通であり、調査員の主観で、介護認定にバラツキがないとよいです。

### 7. その他 5件

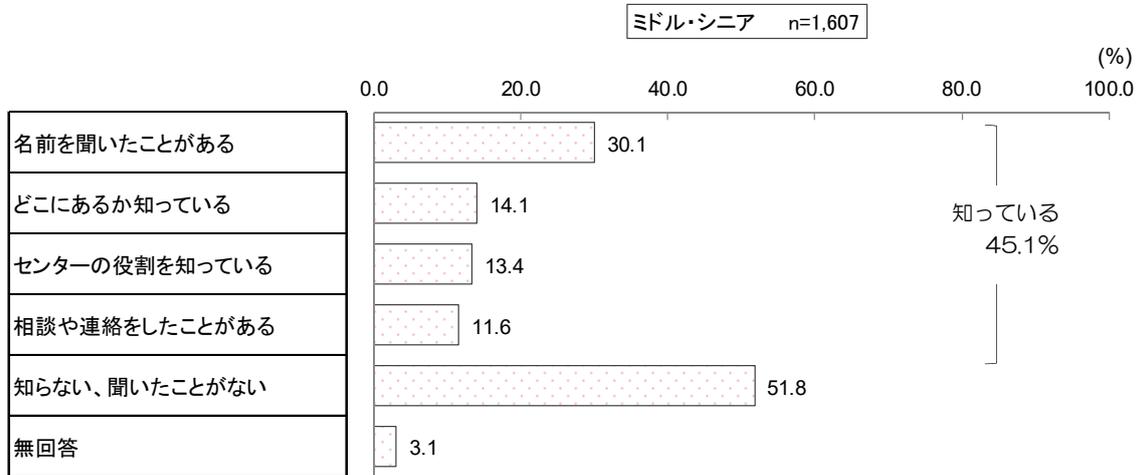
◇親の介護をひとりでやりましたが、予想以上に大変でした。文京区の施設（民間）は高すぎるので、区民が入る場合、補助があると助かると思います。介護のやり方を学ぶ場があると良いと思います。

◇母の介護をしていた時の対応は型通りなもので、個別の事情に則したアドバイスはいただけませんでした。今後は、どれだけ親身になって、きめ細やかな対応ができるか、そのレベルUPの段階に入っているのではないのでしょうか。

問 11 高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）の認知度

高齢者あんしん相談センターを知っている人は45.1%であり、「名前を聞いたことがある」が30.1%、「どこにあるか知っている」が14.1%、「どこにあるか知っている」が14.1%となっています。

図 4.28 高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）の認知度（いくつでも可）



※ 「知っている」=100%－「知らない、聞いたことがない」－「無回答」

性別、年齢別、圏域別、介護経験の有無別いずれにおいても、「知らない、聞いたことがない」の割合が最も高くなっています。高齢者あんしん相談センターの認知度は、介護経験の有無で差が大きく、介護経験がない人は「知らない、聞いたことがない」が63.9%であるのに対して、介護経験がある人は「センターの役割を知っている」が20.0%、「相談や連絡をしたことがある」が24.2%と高くなっています。

図 4.29 高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）の認知度（いくつでも可）  
/性別/年齢別/圏域別/介護経験の有無別

単位：%

項目	回答者数(人)	名前を聞いたことがある	どこにあるか知っている	センターの役割を知っている	相談や連絡をしたことがある	知らない、聞いたことがない	無回答	
全体	1,607	30.1	14.1	13.4	11.6	51.8	3.1	
性別	男性	664	26.1	10.1	8.1	7.5	59.8	4.1
	女性	943	33.0	17.0	17.2	14.4	46.1	2.4
年齢別	50-54歳	566	27.7	11.7	12.4	9.2	55.8	3.2
	55-59歳	551	30.7	15.4	13.8	12.5	50.6	2.9
	60-64歳	484	32.4	15.3	14.3	13.2	48.1	3.3
圏域別	富坂地区	521	27.8	10.9	10.4	8.3	55.3	3.3
	大塚地区	356	29.8	14.9	14.6	12.9	50.3	2.8
	本富士地区	354	30.5	12.1	15.0	13.3	52.3	2.8
	駒込地区	376	33.2	19.7	15.2	13.3	47.9	3.5
介護経験の有無	介護経験あり	619	36.0	21.5	20.0	24.2	38.9	0.8
	介護経験なし	886	27.2	9.1	8.4	2.9	63.9	0.5

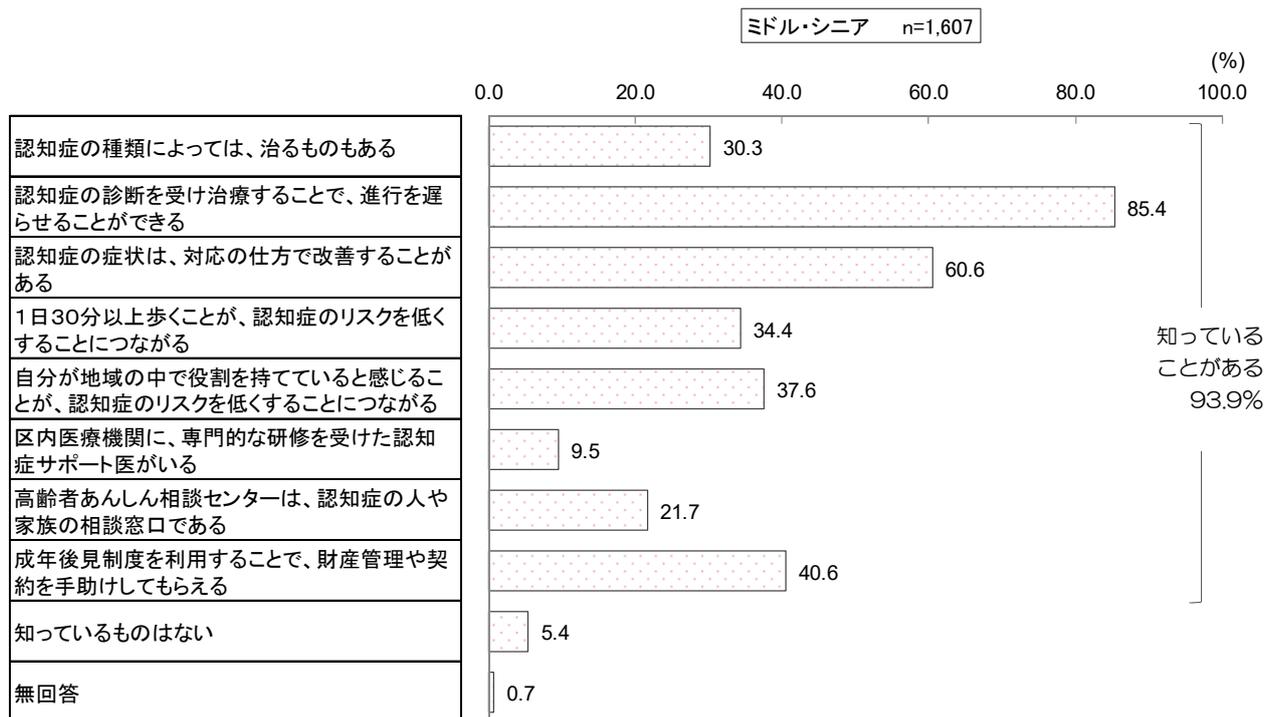
※ 「介護経験の有無」は、問9「家族、又は身近な方の介護をしているか」の回答結果です。

## 5 認知症について

### 問 12 認知症について知っていること

認知症について知っていることがある人の割合は93.9%で、具体的な内容としては「認知症の診断を受け治療することで、進行を遅らせることができる」が85.4%と最も高く、次いで「認知症の症状は、対応の仕方によって改善することがある」が60.6%、「成年後見制度を利用することで、財産管理や契約を手助けしてもらえる」が40.6%となっています。

図 4.30 認知症について知っていること（いくつでも可）



※ 「知っていることがある」=100%－「知っているものはない」－「無回答」

(注) 認知症サポート医…認知症サポート医養成研修を修了し、「かかりつけ医」への助言等の支援を行うとともに、専門医療機関や高齢者あんしん相談センター等との連携役となる医師

性別では、「認知症の診断を受け治療することで、進行を遅らせることができる」、「認知症の症状は、対応の仕方改善することがある」等をはじめとして、男性より女性の方が各項目で「知っている」割合がおおむね高い傾向があります。

年齢別にみると、「認知症の症状は、対応の仕方改善することがある」をはじめ、各項目とも年齢が上がるにつれて認知している人の割合がおおむね増加しています。

圏域別にみると、本富士地区において「認知症の診断を受け治療することで、進行を遅らせることができる」、「認知症の症状は、対応の仕方改善することがある」、「成年後見制度を利用することで、財産管理や契約を手助けしてもらえる」、「自分が地域の中で役割を持っていると感じることが、認知症のリスクを低くすることにつながる」など、他の圏域と比べて認知している割合が高い項目が多くなっています。

また、介護を経験することによっても、認知症への理解が進む傾向がみられます。

図 4.31 認知症について知っていること（いくつでも可）  
/性別/年齢別/圏域別/介護経験の有無別

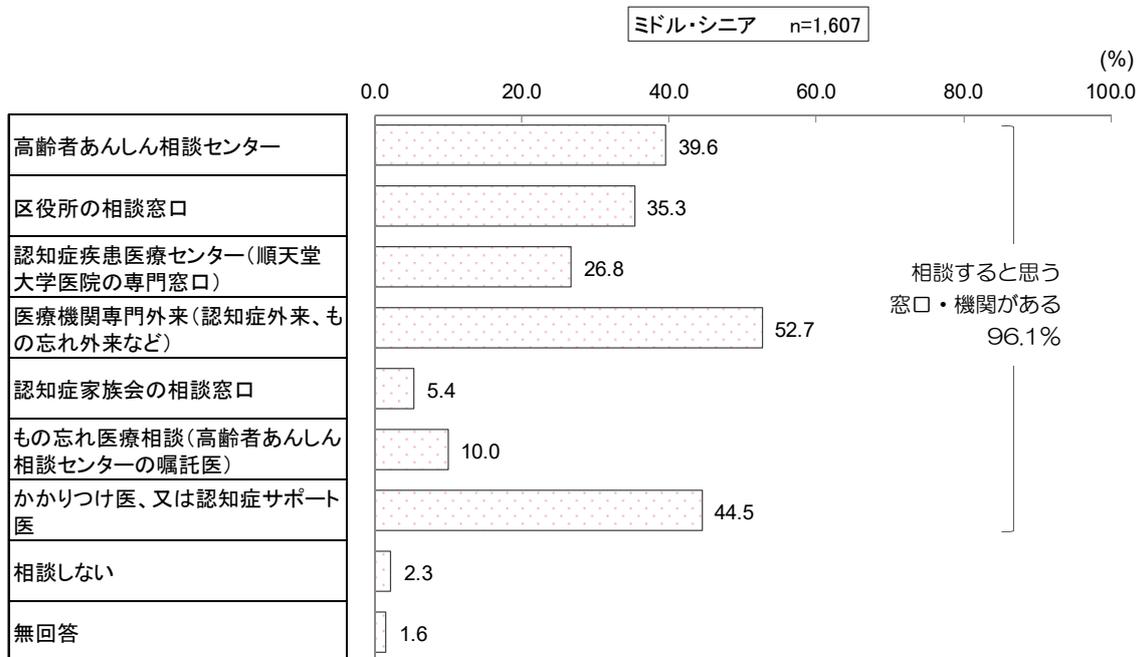
単位：%

項目	回答者数(人)	知っているものはない									無回答	
		認知症の種類によっては、治るものもある	認知症の診断を受け治療することで、進行を遅らせることができる	認知症の症状は、対応の仕方改善することがある	1日30分以上歩くことが、認知症のリスクを低くすることにつながる	自分が地域の中で役割を持っていると感じることが、認知症のリスクを低くすることにつながる	区内医療機関に、専門的な研修を受けた認知症サポーター医がいる	高齢者あんしん相談センターは、認知症の人や家族の相談窓口である	成年後見制度を利用することで、財産管理や契約を手助けしてもらえる	知っているものはない		
全体	1,607	30.3	85.4	60.6	34.4	37.6	9.5	21.7	40.6	5.4	0.7	
性別	男性	664	31.5	81.9	53.6	34.5	35.2	8.6	16.3	35.5	8.9	0.8
	女性	943	29.5	87.9	65.5	34.4	39.3	10.2	25.5	44.1	3.0	0.7
年齢別	50-54歳	566	27.6	84.6	57.1	32.2	39.2	9.7	20.3	38.2	5.7	0.9
	55-59歳	551	28.5	84.8	60.4	35.8	36.8	8.7	22.0	41.4	6.4	0.7
	60-64歳	484	35.7	87.4	64.9	35.5	37.0	10.3	22.7	42.8	3.9	0.6
圏域別	富坂地区	521	29.9	85.4	63.0	35.1	35.7	10.0	19.2	40.5	5.4	0.6
	大塚地区	356	26.4	81.7	57.0	33.1	37.1	9.6	21.1	36.5	7.6	1.1
	本富士地区	354	32.8	89.3	65.5	35.3	40.1	11.0	23.2	43.5	2.8	1.1
	駒込地区	376	32.2	85.4	56.1	33.8	38.6	7.4	24.2	41.8	5.9	0.3
介護経験の有無	介護経験あり	619	32.8	88.0	67.2	34.6	38.9	12.9	30.5	48.5	2.7	0.8
	介護経験なし	886	27.9	83.4	56.3	33.6	35.4	7.2	15.5	35.0	7.6	0.8

## 問 13 認知症相談で利用すると思われる相談窓口

認知症に関する相談で利用すると思う機関・窓口がある人の割合は96.1%で、その種別では「医療機関専門外来」が52.7%と最も高く、次いで「かかりつけ医、又は認知症サポート医」が44.5%、「高齢者あんしん相談センター」が39.6%となっています。

図 4.32 認知症相談で利用すると思われる相談窓口（いくつでも可）



※ 「相談すると思う窓口・機関がある」=100%－「相談しない」－「無回答」

性別では、男女ともに「医療機関専門外来」が最も高く、次いで男性は「高齢者あんしん相談センター」、女性は「かかりつけ医、又は認知症サポート医」が高くなっています。

年齢別にみると、50～54歳は「区役所の相談窓口」と「高齢者あんしん相談センター」に相談する割合が同程度ですが、年齢が上がるにつれて「区役所の相談窓口」の割合が減少し、「高齢者あんしん相談センター」に相談する割合の方が増加しています。

圏域別にみると、大塚地区は「医療機関専門外来」と「かかりつけ医、又は認知症サポート医」が同程度となっています。

介護経験の有無別にみると、介護経験がある人は「かかりつけ医、又は認知症サポート医」が51.4%と、介護経験がない人に比べ12ポイントほど高くなっています。介護経験がない人は「区役所の相談窓口」が39.4%と、介護経験がある人に比べ11ポイントほど高くなっています。

図 4.33 認知症相談で利用すると思われる相談窓口（いくつでも可）  
/性別/年齢別/圏域別/介護経験の有無別

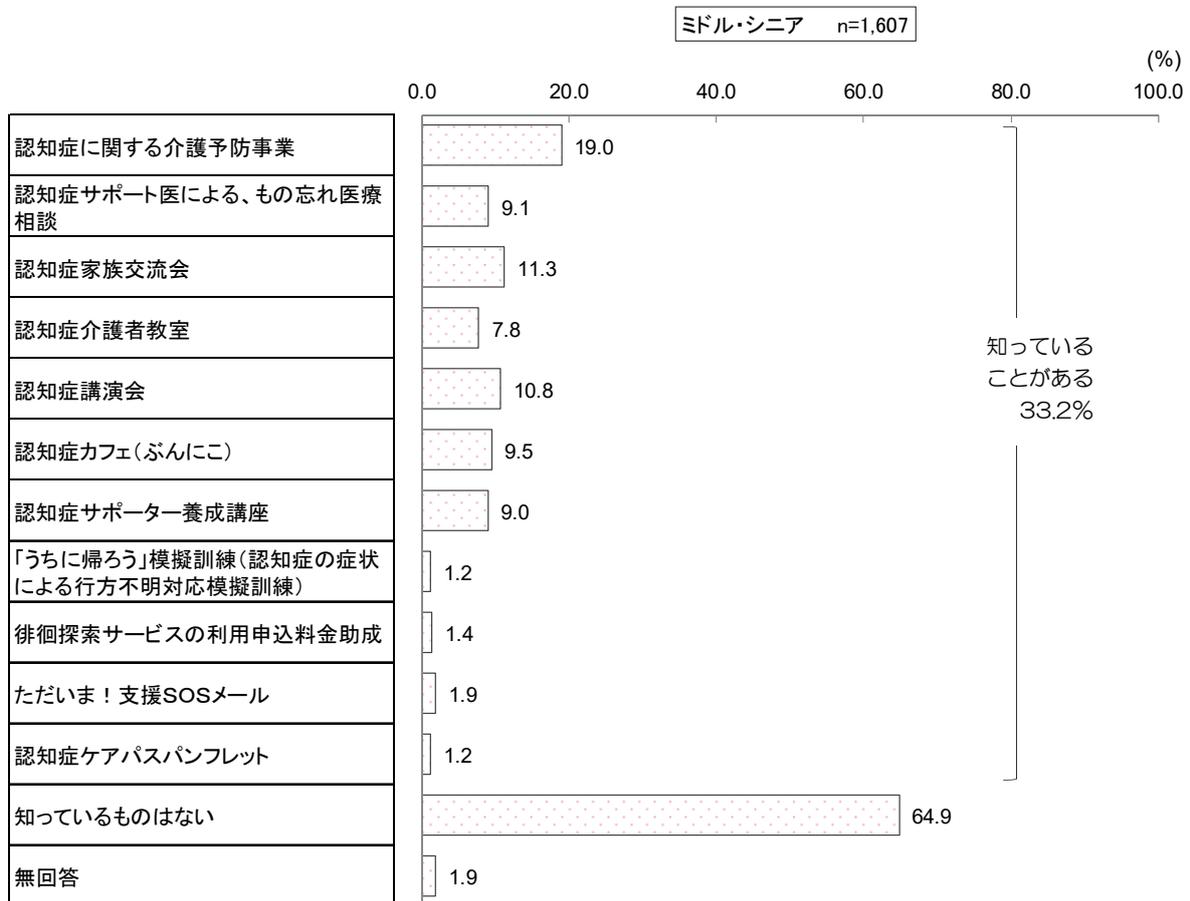
単位：%

項目		回答者数(人)	高齢者あんしん相談センター	区役所の相談窓口	認知症疾患医療センター (順天堂大学医院の専門 窓口)	医療機関専門外来(認知 症外来、もの忘れ外来な ど)	認知症家族会の相談窓口	あんしん相談センターの囁 託医)	もの忘れ医療相談(高齢者 あんしん相談センター)の囁 託医)	かかりつけ医、又は認知症 サポート医	相談しない	無回答
全 体		1,607	39.6	35.3	26.8	52.7	5.4	10.0	44.5	2.3	1.6	
性別	男 性	664	38.7	38.0	23.9	47.9	3.6	6.6	38.0	3.2	1.5	
	女 性	943	40.3	33.5	28.8	56.1	6.7	12.3	49.1	1.7	1.7	
年齢別	50-54歳	566	37.8	38.0	25.6	54.6	6.4	11.0	43.5	1.6	1.9	
	55-59歳	551	40.7	35.2	27.2	52.1	4.5	9.4	44.6	2.2	0.9	
	60-64歳	484	40.5	32.4	28.1	51.4	5.4	9.5	45.7	3.3	1.9	
圏域別	富坂地区	521	38.6	35.7	29.0	54.5	5.8	10.7	39.3	1.2	1.5	
	大塚地区	356	38.2	36.8	26.7	45.5	5.1	9.6	46.3	2.0	1.7	
	本富士地区	354	39.5	33.3	27.1	53.4	4.2	9.3	44.9	3.4	2.0	
	駒込地区	376	42.6	35.4	23.7	56.4	6.4	9.8	49.5	3.2	1.3	
介護経験の有無	介護経験あり	619	42.8	28.8	26.7	53.8	6.8	11.1	51.4	1.3	1.6	
	介護経験なし	886	37.6	39.4	26.7	52.7	4.1	9.3	39.6	2.8	1.6	

## 問 14 認知症に関する区の事業の認知度

認知症に関する区の事業について知っていることがある割合は33.2%で、「認知症に関する介護予防事業」が19.0%で最も高く、次いで「認知症家族交流会」が11.3%、「認知症講演会」が10.8%となっています。「知っているものはない」は64.9%です。

図 4.34 認知症に関する区の事業の認知度（いくつでも可）



※ 「知っていることがある」=100%－「知っているものはない」－「無回答」

「知っているものはない」と回答した割合は、性別では男性において、年齢別では若い年代ほど高くなっています。

圏域別にみると、「駒込地区」が「知っているものはない」の割合が低く、介護経験の有無によっても、介護経験なしは介護経験ありに比べ「知っているものはない」が20ポイントほど高くなっています。

図 4.35 認知症に関する区の事業の認知度（いくつでも可）  
/性別/年齢別/圏域別/介護経験の有無別

単位：%

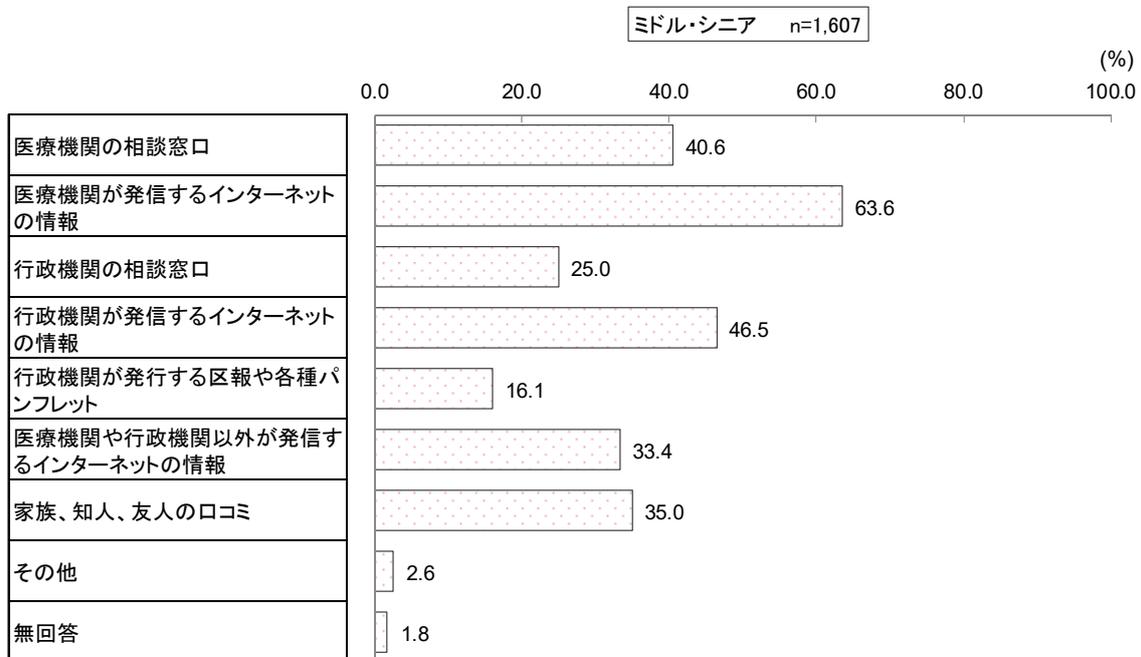
項目		回答者数(人)	認知症に関する介護 予防事業	認知症サポート医に よる、もの忘れ医療 相談	認知症家族交流会	認知症介護者教室	認知症講演会	認知症カフェ(ふんに こ)	認知症サポーター養 成講座
全体		1,607	19.0	9.1	11.3	7.8	10.8	9.5	9.0
性別	男性	664	16.1	6.9	6.2	5.4	6.9	5.7	7.2
	女性	943	21.0	10.7	14.8	9.5	13.5	12.2	10.3
年齢別	50-54歳	566	19.3	8.7	10.1	8.1	9.4	11.1	8.3
	55-59歳	551	18.9	8.9	11.3	7.6	10.3	8.3	8.9
	60-64歳	484	18.8	9.9	12.6	7.9	12.8	8.9	9.9
圏域別	富坂地区	521	19.2	9.6	8.3	7.1	11.7	8.1	8.6
	大塚地区	356	16.9	7.0	11.2	7.9	10.1	8.7	8.1
	本富士地区	354	20.1	9.0	13.8	8.2	11.6	10.5	10.2
	駒込地区	376	19.7	10.6	13.0	8.5	9.3	11.4	9.3
介護経験の有無	介護経験あり	619	24.2	12.1	19.4	10.5	13.9	12.9	13.1
	介護経験なし	886	14.6	6.9	5.5	5.4	8.2	7.0	5.8

項目		回答者数(人)	「うちに帰ろう」模擬訓練 (認知症の症状による行 方不明対応模擬訓練)	徘徊探索サービスの利用 申込料金助成	ただいま！支援SOSメ ール	認知症ケアパスパンフレッ ト	知っているものはない	無回答
全体		1,607	1.2	1.4	1.9	1.2	64.9	1.9
性別	男性	664	1.2	0.9	1.8	0.8	73.0	1.7
	女性	943	1.3	1.8	1.9	1.5	59.2	2.0
年齢別	50-54歳	566	1.2	1.1	2.1	1.8	67.8	1.4
	55-59歳	551	1.3	1.8	1.8	0.7	65.3	1.6
	60-64歳	484	1.2	1.4	1.7	1.0	61.4	2.1
圏域別	富坂地区	521	0.8	0.8	1.3	0.6	65.3	1.7
	大塚地区	356	2.0	2.2	2.5	1.7	66.9	2.0
	本富士地区	354	0.8	2.0	2.0	1.1	66.1	2.0
	駒込地区	376	1.6	1.1	1.9	1.6	61.4	1.9
介護経験の有無	介護経験あり	619	2.1	2.4	3.1	2.1	53.6	2.1
	介護経験なし	886	0.7	0.8	1.0	0.6	73.5	1.7

## 問 15 認知症についての情報収集の方法

認知症に関する情報収集の方法は、「医療機関が発信するインターネットの情報」が63.6%と最も高く、次いで「行政機関が発信するインターネットの情報」が46.5%、「医療機関の相談窓口」が40.6%となっています。

図 4.36 認知症についての情報収集の方法（いくつでも可）



※ その他【抜粋】 インターネットで検索（6件）、書籍（10件）

性別では、女性は「家族、知人、友人の口コミ」が男性より5ポイント以上高くなっています。

年齢別にみると、年代が若いほどインターネット（「医療機関が発信するインターネットの情報」、「行政機関が発信するインターネットの情報」、「医療機関や行政機関以外が発信するインターネットの情報」）から情報を収集する割合が高くなっています。

圏域別にみると、どの圏域においても「医療機関が発信するインターネットの情報」が最も高く、次いで「行政機関が発信するインターネットの情報」となっています。

介護経験の有無別にみると、介護経験がある人は「家族、知人、友人の口コミ」の割合が39.7%と、介護経験のない人と比べて8ポイントほど高くなっています。

図 4.37 認知症についての情報収集の方法（いくつでも可）  
/性別/年齢別/圏域別/介護経験の有無別

単位：%

項目		回答者数（人）	医療機関の相談窓口	医療機関が発信するインターネットの情報	行政機関の相談窓口	行政機関が発信するインターネットの情報	行政機関が発信するインターネットの情報 や各種パンフレット	医療機関や行政機関以外が発信するインターネットの情報	家族、知人、友人の口コミ	その他	無回答
全体		1,607	40.6	63.6	25.0	46.5	16.1	33.4	35.0	2.6	1.8
性別	男性	664	39.3	65.4	22.9	48.6	13.9	32.8	30.0	2.6	1.5
	女性	943	41.6	62.4	26.4	45.0	17.7	33.8	38.6	2.7	2.0
年齢別	50-54歳	566	40.6	69.1	25.6	51.4	16.3	38.0	37.5	2.7	1.8
	55-59歳	551	38.8	62.1	22.1	45.4	14.0	34.1	36.3	2.2	1.6
	60-64歳	484	42.8	59.3	27.1	42.4	18.4	27.7	31.0	2.9	1.9
圏域別	富坂地区	521	41.1	63.7	27.1	47.8	16.5	33.0	34.7	2.3	2.1
	大塚地区	356	42.7	59.8	24.4	48.9	15.2	32.3	34.3	1.1	2.2
	本富士地区	354	41.0	67.2	24.0	43.2	16.1	35.9	33.1	2.8	1.4
	駒込地区	376	37.8	63.6	23.4	45.5	16.5	32.7	38.0	4.3	1.3
介護経験の有無	介護経験あり	619	43.0	61.9	25.0	43.0	16.6	30.9	39.7	3.1	2.1
	介護経験なし	886	39.4	65.1	24.4	48.6	15.5	35.8	31.5	2.4	1.5

## 6 健康・介護予防について

## 問 16 現在の健康状態

健康状態については、「とても良い」は20.2%、「まあ良い」は67.1%と、87.3%が良いと回答しています。

性別や年齢別においては、特に大きな違いはみられません。

図 4.38 現在の健康状態/性別/年齢別

		とても良い	まあ良い	あまり良くない	良くない	無回答	(%)
合計 (n=1,607)		20.2	67.1			10.0	20.6
性別	男性 (n=664)	18.4	68.4			10.8	21.3
	女性 (n=943)	21.4	66.3			9.3	20.7
年齢別	50-54歳 (n=566)	20.7	66.4			9.7	21.5
	55-59歳 (n=551)	19.1	67.5			11.3	20.4
	60-64歳 (n=484)	20.5	67.8			8.9	21.8

## 問 17 健康の維持・増進のための取り組みの有無

健康の維持・増進のため、現在取り組んでいることがある人は60.9%、取り組んでいない人は30.7%となっています。

性別では、男性より女性で取り組んでいる割合がやや多く、また、年齢別においては、年代が上がるにつれて、取り組んでいる人の割合が増加する傾向がわずかにみられます。

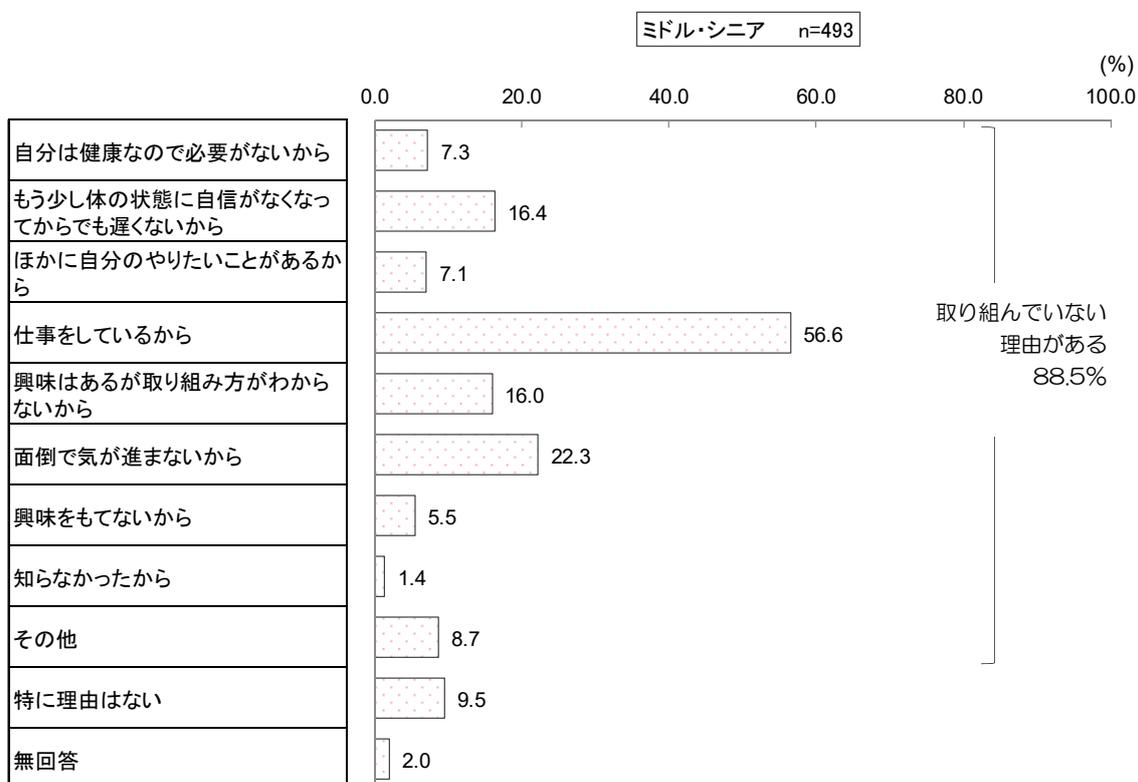
図 4.39 健康の維持・増進のための取り組みの有無/性別/年齢別

		取り組んでいることがある	特に取り組んでいないことはない	無回答	(%)
合計 (n=1,607)		60.9	30.7	8.4	
性別	男性 (n=664)	59.2	32.7	8.1	
	女性 (n=943)	62.1	29.3	8.6	
年齢別	50-54歳 (n=566)	59.5	32.7	7.8	
	55-59歳 (n=551)	61.0	31.0	8.0	
	60-64歳 (n=484)	62.2	28.1	9.7	

問 17-1 【健康維持・増進に取り組んでいない方】取り組んでいない主な理由

健康づくりに取り組んでいない理由がある人の割合は 88.5%で、その理由として「仕事をしているから」が 56.6%と最も高く、次いで「面倒で気が進まないから」が 22.3%、「もう少し体の状態に自信がなくなっても遅くないから」が 16.4%となっています。

図 4.40 取り組んでいない主な理由



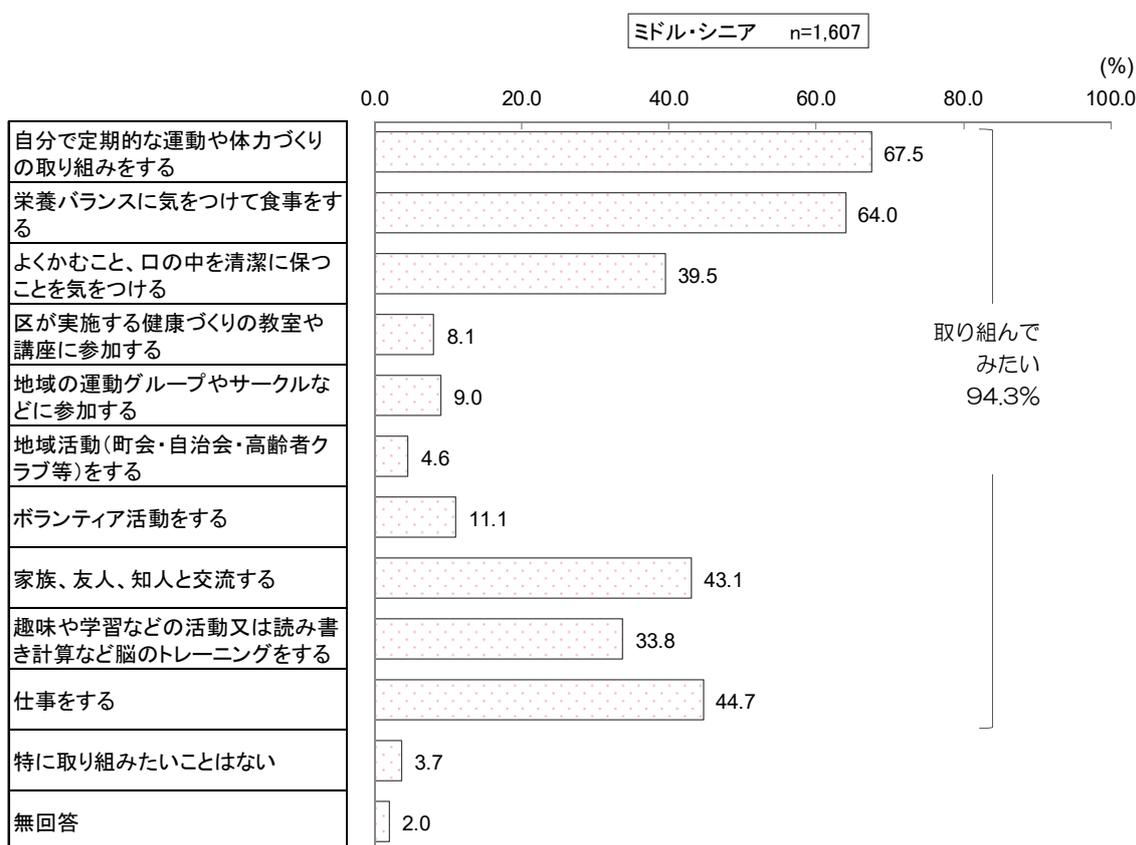
※ その他【抜粋】 時間がない、通院治療中、介護が忙しい  
 ※ 「取り組んでいない理由がある」=100%－「特に理由はない」－「無回答」



## 問 18 健康の維持・増進のため、今後取り組んでみたいこと

健康の維持・増進のため、今後取り組みたいことがある人の割合は94.3%で、「自分で定期的な運動や体力づくりの取り組みをする」が67.5%で最も高く、次いで「栄養バランスに気を付けて食事をする」が64.0%、「仕事をする」が44.7%、「家族、友人、知人と交流する」が43.1%となっています。

図 4.42 健康の維持・増進のため、今後取り組んでみたいこと（いくつでも可）



※ 「取り組んでみたい」=100%－「特に取り組みたいことはない」－「無回答」

性別では、男性は「自分で定期的な運動や体力づくりの取り組みをする」が69.9%と最も高く、女性は「栄養バランスに気をつけて食事をする」が67.6%と最も高くなっています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「ボランティア活動をする」が増加し、「家族、友人、知人と交流する」が減少しています。

健康感別にみると、とても良い人は「栄養バランスに気をつけて食事をする」が71.6%と最も高く、次いでわずかの差で「自分で定期的な運動や体力づくりの取り組みをする」が69.4%となっています。まあ良い人も「自分で定期的な運動や体力づくりの取り組みをする」は68.0%と高くなっていますが、あまり良くない人(61.3%)、良くない人(62.9%)は60%台前半にとどまっています。「栄養バランスに気をつけて食事をする」も、健康状態がまあ良い人では63.8%ですが、あまり良くない人(53.1%)、良くない人(57.1%)は50%台にとどまっています。また、とても良い人は、「家族、友人、知人と交流する」(54.9%)、「仕事をする」(52.5%)が半数以上となっています。

図 4.43 健康の維持・増進のため、今後取り組んでみたいこと(いくつでも可)  
/性別/年齢別/健康感別

単位:%

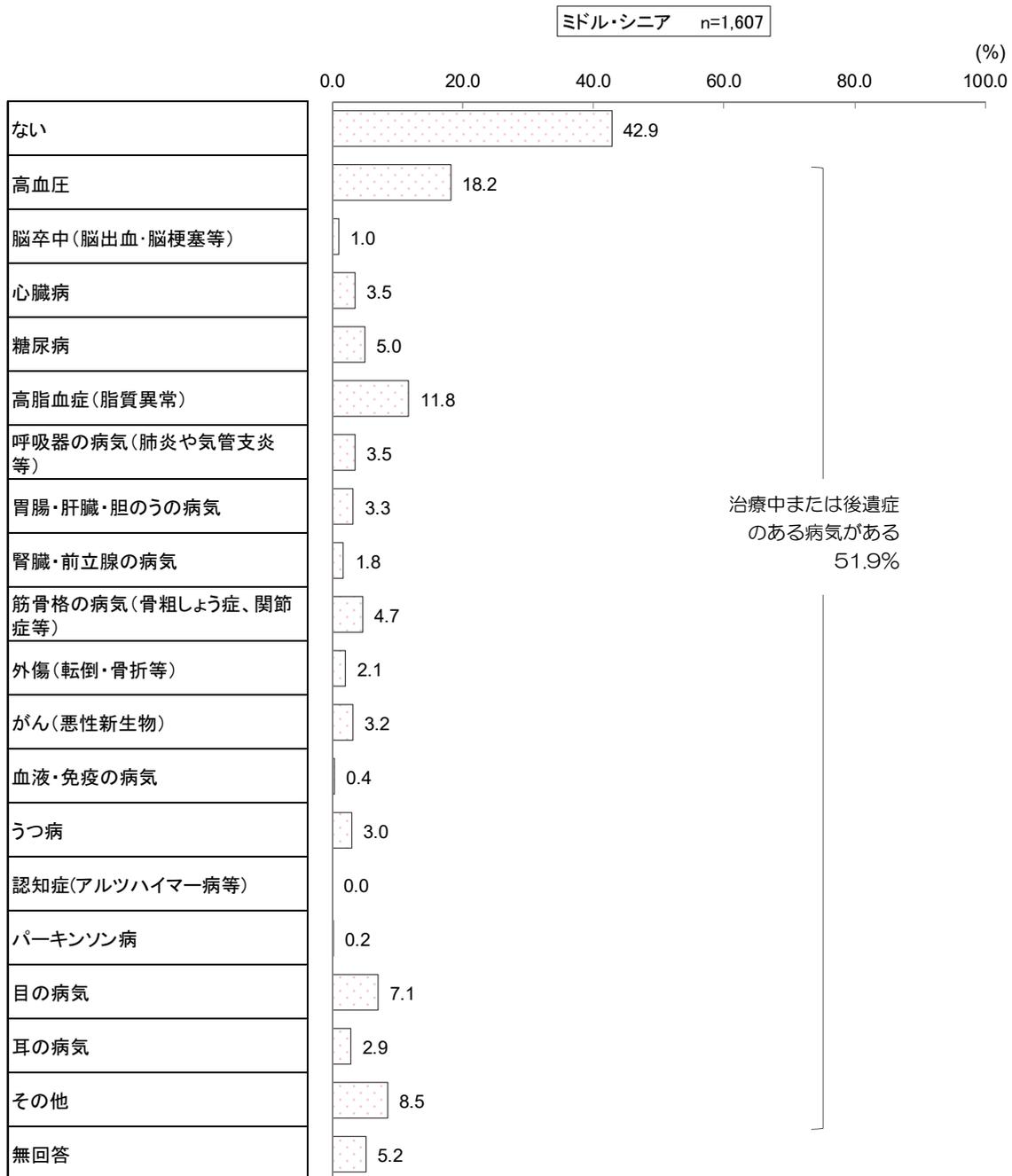
項目	回答者数(人)	自分で定期的な運動や体力づくりの取り組みをする	栄養バランスに気をつけて食事をする	よくかむこと、口の中を清潔に保つことを気をつける	座に参加する	区が実施する健康づくりの教室や講座に参加する	地域の運動グループやサークルなどに参加する	地域活動(町会・自治会・高齢者クラブ等)をする	ボランティア活動をする	家族、友人、知人と交流する	趣味や学習などの活動又は読み書き計算など脳のトレーニングをする	仕事をする	特に取り組みたいことはない	無回答
		67.5	64.0	39.5	8.1	9.0	4.6	11.1	43.1	33.8	44.7	3.7	2.0	
全体	1,607	67.5	64.0	39.5	8.1	9.0	4.6	11.1	43.1	33.8	44.7	3.7	2.0	
性別	男性	664	69.9	58.9	32.2	3.9	7.4	3.9	8.0	33.4	27.6	43.7	5.3	1.5
	女性	943	65.7	67.6	44.6	11.0	10.2	5.1	13.3	49.8	38.2	45.4	2.7	2.3
年齢別	50-54歳	566	66.8	65.5	38.7	8.0	9.7	5.1	9.7	45.6	33.2	45.1	3.2	1.8
	55-59歳	551	69.1	63.7	40.5	8.2	7.8	3.8	10.7	42.6	33.4	44.5	4.0	2.4
	60-64歳	484	66.5	62.8	39.7	8.1	9.5	5.0	12.8	40.5	34.9	44.6	4.1	1.7
健康感別	とても良い	324	69.4	71.6	44.1	8.0	12.0	5.6	17.0	54.9	41.7	52.5	2.8	0.3
	まあ良い	1,079	68.0	63.8	39.0	8.1	8.3	4.4	10.1	40.8	32.5	44.5	3.2	2.0
	あまり良くない	160	61.3	53.1	35.0	6.9	8.1	4.4	8.1	35.0	26.9	33.1	10.0	1.9
	良くない	35	62.9	57.1	34.3	17.1	8.6	5.7	2.9	45.7	37.1	34.3	2.9	8.6

## 7 医療について

### 問 19 現在治療中、または後遺症のある病気の有無

現在治療中、または後遺症のある病気がある割合は 51.9%で、「高血圧」が 18.2%で最も高く、次いで「高脂血症」が 11.8%となっています。一方、現在治療中、または後遺症のある病気が「ない」人の割合は 42.9%となっています。

図 4.44 現在治療中、または後遺症のある病気の有無（いくつでも可）



※ その他【抜粋】 痛風、更年期障害、てんかん、腰痛

※ 「治療中または後遺症のある病気がある」=100%−「ない」−「無回答」

現在治療中、または後遺症のある病気の有無を性別にみると、女性の方が「ない」割合が高くなっています。男性は「高血圧」が4人に1人の割合となっています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「ない」と回答する割合が減少し、「高血圧」や「高脂血症」の割合が増加しています。

健康感別にみると、良くないと回答する人ほど病気を抱えている割合が高く、良くないと回答した人では「高血圧」が37.1%、「うつ病」が34.3%となっています。

図 4.45 現在治療中、または後遺症のある病気の有無（いくつでも可）/性別/年齢別/健康感別

単位:%

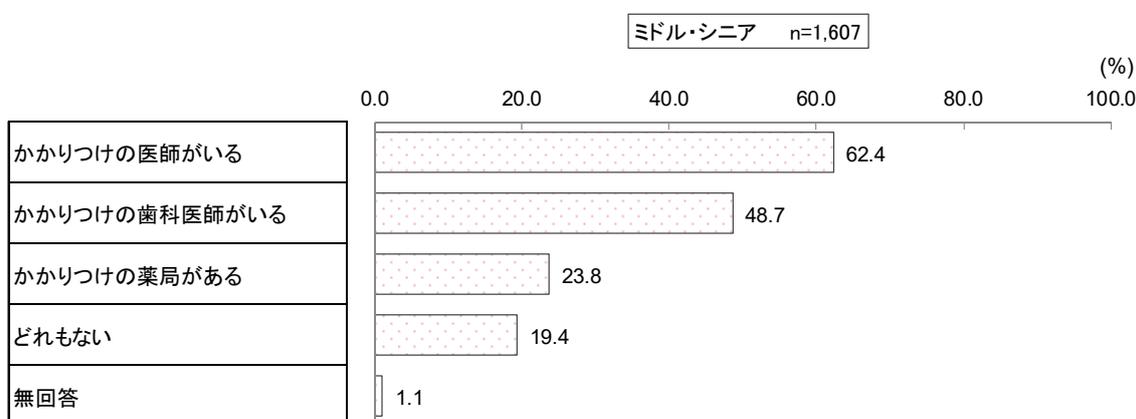
項目		回答者数(人)	ない	高血圧	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症(脂質異常)	呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)
全体		1,607	42.9	18.2	1.0	3.5	5.0	11.8	3.5	3.3	1.8	4.7
性別	男性	664	39.9	25.3	0.9	5.6	7.8	13.7	3.5	2.9	2.9	2.7
	女性	943	45.0	13.1	1.1	2.1	3.0	10.5	3.5	3.6	1.1	6.2
年齢別	50-54歳	566	50.5	14.0	0.9	2.7	3.4	8.0	3.7	2.1	1.6	3.0
	55-59歳	551	42.1	17.4	1.1	2.5	5.4	12.7	2.7	4.5	1.1	4.7
	60-64歳	484	34.9	24.0	1.0	5.8	6.4	15.3	4.1	3.1	2.9	6.6
健康感別	とても良い	324	66.0	12.0	0.3	0.6	0.6	5.6	0.3	0.6	0.0	2.2
	まあ良い	1,079	42.1	18.5	0.8	3.2	4.4	12.9	2.7	2.8	1.6	3.9
	あまり良くない	160	12.5	23.1	3.1	9.4	12.5	16.3	11.3	12.5	6.3	10.0
	良くない	35	0.0	37.1	2.9	14.3	25.7	20.0	20.0	2.9	2.9	31.4

項目		回答者数(人)	外傷(転倒・骨折等)	がん(悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全体		1,607	2.1	3.2	0.4	3.0	0.0	0.2	7.1	2.9	8.5	5.2
性別	男性	664	1.7	2.6	0.6	2.7	0.0	0.5	7.4	2.6	6.5	4.5
	女性	943	2.3	3.7	0.3	3.2	0.0	0.1	6.9	3.2	9.9	5.7
年齢別	50-54歳	566	2.7	2.7	0.4	3.5	0.0	0.2	4.4	1.8	8.7	5.8
	55-59歳	551	1.5	4.0	0.5	2.7	0.0	0.0	8.9	2.7	8.5	6.2
	60-64歳	484	2.1	3.1	0.4	2.7	0.0	0.6	8.3	4.3	8.3	3.5
健康感別	とても良い	324	0.0	0.0	0.3	0.9	0.0	0.0	4.0	0.6	2.5	8.0
	まあ良い	1,079	2.0	2.6	0.4	1.5	0.0	0.2	7.4	3.1	8.6	5.0
	あまり良くない	160	5.0	10.6	1.3	10.6	0.0	1.3	11.3	5.0	16.9	0.6
	良くない	35	8.6	17.1	0.0	34.3	0.0	0.0	5.7	11.4	22.9	0.0

## 問 20 かかりつけ医・歯科医・薬局の有無

「かかりつけの医師がいる」は 62.4%、「かかりつけの歯科医師がいる」は 48.7%、「かかりつけの薬局がある」は 23.8%となっています。一方、「どれもない」は 19.4%です。

図 4.46 かかりつけ医・歯科医・薬局の有無（いくつでも可）



(注) かかりつけ医・歯科医・薬局…普段からかかりつけている患者の健康状態や病歴のことなどを把握しており、医療や健康に関することを気軽に相談できる医師、歯科医師や薬局のこと。医師などが特定されなくても、かかりつけの病院などがあればそれも含まれます。

性別では、女性の方がかかりつけの「医師」、「歯科医師」、「薬局」がある割合が高くなっています。

また、年齢が上がるにつれて、「かかりつけの医師がいる」割合が高く、60～64 歳では 69.8%となっています。

健康感別にみると、良くない人ほど「かかりつけ医がいる」割合が高く、良くないと回答した人では 82.9%となっています。

図 4.47 かかりつけ医・歯科医・薬局の有無（いくつでも可）/性別/年齢別/健康感別

単位: %

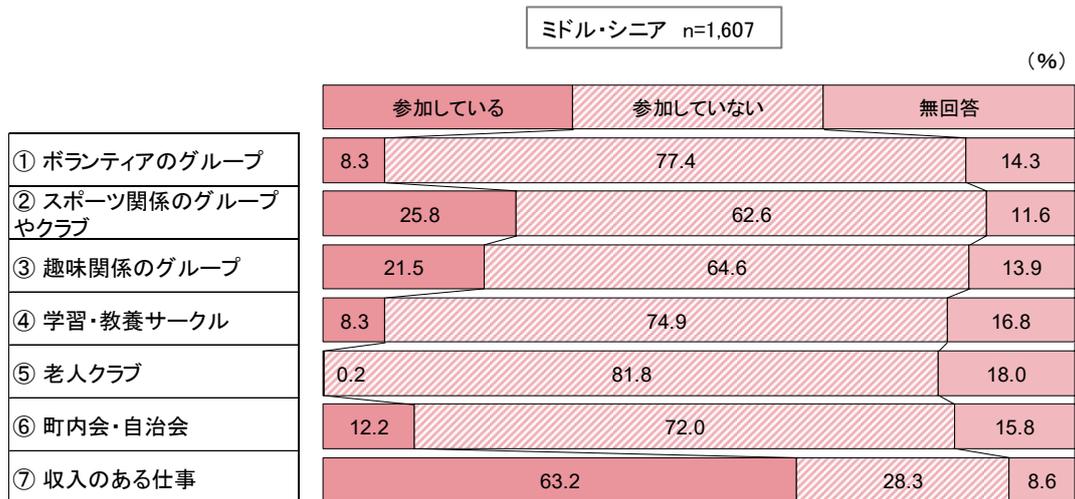
項目	回答者数 (人)	かかりつけの医師がいる	かかりつけの歯科医師がいる	かかりつけの薬局がある	どれもない	無回答	
全体	1,607	62.4	48.7	23.8	19.4	1.1	
性別	男性	62.0	37.5	17.9	24.2	0.8	
	女性	62.7	56.6	28.0	16.0	1.3	
年齢別	50-54 歳	57.8	45.9	22.8	23.0	0.9	
	55-59 歳	551	60.8	49.5	22.3	21.4	0.9
	60-64 歳	484	69.8	51.0	26.7	13.0	1.2
健康感別	とても良い	324	52.8	49.7	13.0	26.9	0.0
	まあ良い	1,079	63.3	49.8	25.6	18.3	0.7
	あまり良くない	160	73.1	44.4	31.9	15.6	1.9
	良くない	35	82.9	34.3	37.1	8.6	2.9

## 8 地域での活動について

## 問 21 会・グループ等への参加

年に数回以上（「週 4 回以上」から「年に数回」の合計）参加している会・グループ等は、「収入のある仕事」が63.2%で最も高く、次いで「スポーツ関係のグループやクラブ」が25.8%、「趣味関係のグループ」が21.5%となっています。

図 4.48 会・グループ等への参加



それぞれの会・グループ等への参加状況の詳細は次のとおりです。

## ① ボランティアのグループ

図 4.49 ① ボランティアのグループ/性別/年齢別

単位：%

項目	回答者数 (人)	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答	
全 体	1,607	0.4	1.0	1.6	2.3	3.0	77.4	14.3	
性別	男 性	664	0.2	0.3	0.5	1.5	2.0	83.4	12.2
	女 性	943	0.5	1.5	2.4	2.9	3.8	73.2	15.7
年齢別	50-54 歳	566	0.2	0.7	1.4	1.9	5.3	77.0	13.4
	55-59 歳	551	0.5	0.9	1.1	2.7	1.1	79.7	14.0
	60-64 歳	484	0.4	1.4	2.3	2.3	2.7	75.2	15.7

② スポーツ関係のグループやクラブ

図 4.50 ② スポーツ関係のグループやクラブ/性別/年齢別

単位：%

項目		回答者数 (人)	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
全 体		1,607	3.2	8.1	6.9	4.7	3.0	62.6	11.6
性別	男 性	664	2.6	5.1	6.9	5.6	3.5	67.8	8.6
	女 性	943	3.6	10.2	6.9	4.0	2.7	59.0	13.7
年齢別	50-54 歳	566	3.2	7.6	6.7	5.3	1.9	63.8	11.5
	55-59 歳	551	2.5	8.3	6.4	4.4	3.4	63.5	11.4
	60-64 歳	484	3.7	8.5	7.6	4.3	3.7	60.1	12.0

③ 趣味関係のグループ

図 4.51 ③ 趣味関係のグループ/性別/年齢別

単位：%

項目		回答者数 (人)	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
全 体		1,607	1.2	1.7	3.3	8.8	6.5	64.6	13.9
性別	男 性	664	0.6	1.1	1.7	7.1	6.5	71.8	11.3
	女 性	943	1.6	2.1	4.5	10.1	6.5	59.5	15.8
年齢別	50-54 歳	566	0.7	1.2	3.2	8.0	5.5	68.0	13.4
	55-59 歳	551	0.9	1.3	2.7	10.5	7.4	63.0	14.2
	60-64 歳	484	2.1	2.7	4.1	7.6	6.4	62.6	14.5

④ 学習・教養サークル

図 4.52 ④ 学習・教養サークル/性別/年齢別

単位：%

項目		回答者数 (人)	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
全 体		1,607	0.3	0.7	1.6	2.7	2.9	74.9	16.8
性別	男 性	664	0.3	0.5	0.9	1.7	2.1	81.5	13.1
	女 性	943	0.3	0.8	2.1	3.5	3.5	70.3	19.4
年齢別	50-54 歳	566	0.2	0.4	1.2	2.3	2.8	77.2	15.9
	55-59 歳	551	0.4	1.6	1.6	3.1	2.5	75.0	15.8
	60-64 歳	484	0.4	0.0	1.9	2.7	3.5	72.3	19.2

## ⑤ 老人クラブ

図 4.53 ⑤ 老人クラブ/性別/年齢別

単位：%

項目		回答者数 (人)	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
全 体		1,607	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	81.8	18.0
性別	男 性	664	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	86.3	13.7
	女 性	943	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	78.6	21.1
年齢別	50-54 歳	566	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	82.7	17.1
	55-59 歳	551	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	83.5	16.5
	60-64 歳	484	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0	78.5	21.1

## ⑥ 町内会・自治会

図 4.54 ⑥ 町内会・自治会/性別/年齢別

単位：%

項目		回答者数 (人)	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
全 体		1,607	0.2	0.1	0.3	2.9	8.6	72.0	15.8
性別	男 性	664	0.3	0.2	0.5	3.5	8.0	77.1	10.5
	女 性	943	0.2	0.1	0.2	2.5	9.0	68.4	19.5
年齢別	50-54 歳	566	0.2	0.0	0.4	3.2	9.9	71.9	14.5
	55-59 歳	551	0.2	0.0	0.4	2.0	7.3	75.3	14.9
	60-64 歳	484	0.4	0.4	0.2	3.7	8.7	68.0	18.6

## ⑦ 収入のある仕事/性別/年齢別

図 4.55 ⑦ 収入のある仕事/性別/年齢別

単位：%

項目		回答者数 (人)	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
全 体		1,607	50.9	8.3	1.4	1.5	1.1	28.3	8.6
性別	男 性	664	58.6	2.3	0.5	0.8	0.9	29.4	7.7
	女 性	943	45.5	12.5	2.0	2.0	1.3	27.5	9.2
年齢別	50-54 歳	566	53.2	10.1	1.1	1.6	1.2	24.6	8.3
	55-59 歳	551	53.2	6.7	1.1	1.1	0.7	29.9	7.3
	60-64 歳	484	45.5	7.9	2.1	1.9	1.4	30.8	10.5

問 22 地域づくりを進める活動に参加者として参加したいか

いきいきとした地域づくりを進めるうえで、健康づくり活動や趣味等のグループ活動に、「参加者」として「是非参加したい」が7.4%、「参加してもよい」が58.6%、「参加したくない」が32.5%となっています。

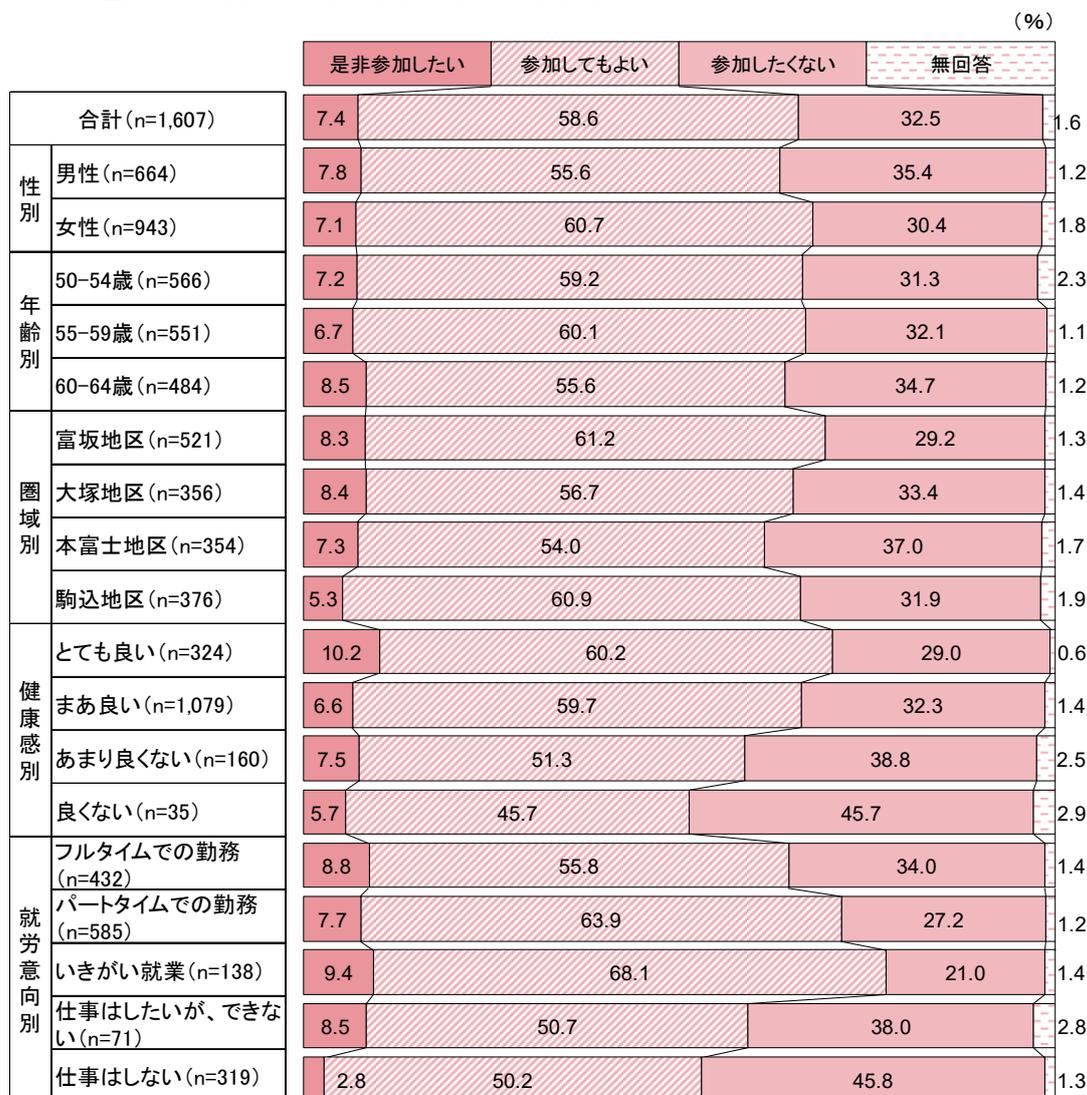
性別では、「参加してもよい」は男性より女性で、年齢別では55～59歳で高くなっています。

圏域別にみると、富坂地区は「是非参加したい」が8.3%、「参加してもよい」が61.2%、合わせて69.5%と、4圏域の中で最も高くなっています。

健康感別にみると、良くない人ほど「参加したくない」の割合が高くなっています。

就労意向別にみると、いきがい就業を希望している人は、「是非参加したい」「参加してもよい」の割合がともに最も高く、参加見込み率は77.5%となっています。

図 4.56 地域づくりを進める活動に参加者として参加したいか  
/性別/年齢別/圏域別/健康感別/就労意向別



問 23 地域づくりを進める活動に企画・運営（お世話役）として参加したいか

いきいきとした地域づくりを進めるうえで、健康づくり活動や趣味等のグループ活動に、「企画・運営（お世話役）」としての参加については、「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせて46.3%となっています。一方、「参加したくない」は51.8%となっています。

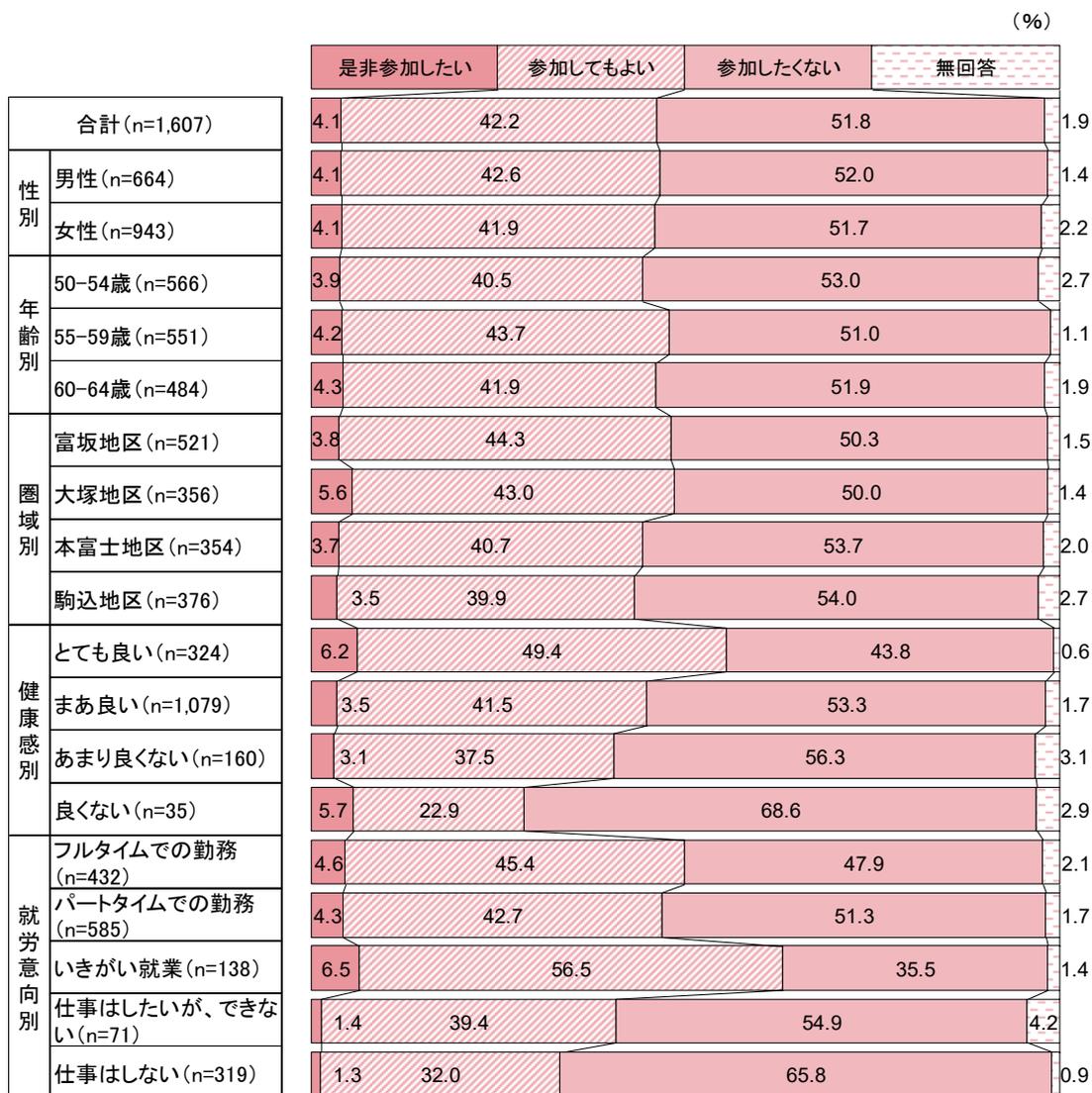
性別、年齢別では目立った差はみられません。

圏域別にみると、大塚地区は「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせて48.6%と、4 圏域の中で最も高くなっています。

健康感別にみると、良くない人ほど「参加したくない」と回答する割合が高くなっています。

就労意向別にみると、生きがい就業（シルバー人材センター等）を希望する人で「是非参加したい」「参加してもよい」の割合が高くなっています。

図 4.57 地域づくりを進める活動に企画・運営（お世話役）として参加したいか /性別/年齢別/圏域別/健康感別/就労意向別

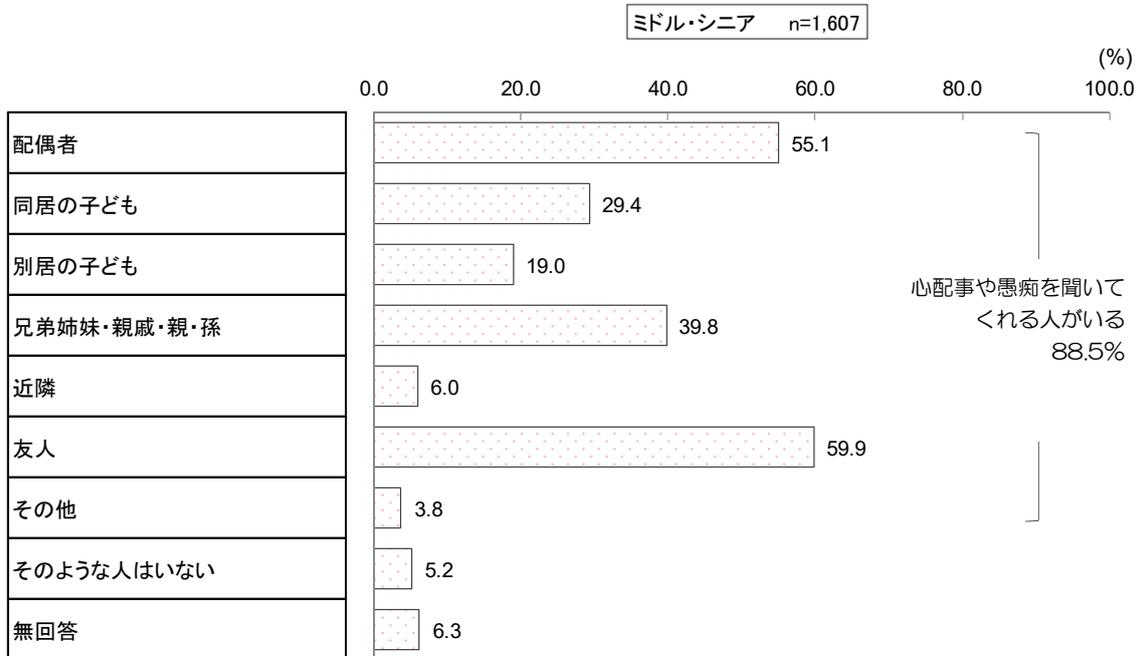


## 9 たすけあいについて

### 問 24 心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人

心配事や愚痴を聞いてくれる人がいる割合は 88.5%で、「友人」が 59.9%と最も高く、次いで「配偶者」が 55.1%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 39.8%となっています。

図 4.58 心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも可）



※ その他【抜粋】 仕事の同僚

※ 「心配事や愚痴を聞いてくれる人がいる」=100%−「そのような人はいない」−「無回答」

性別では、男性は「配偶者」が 61.6%、女性は「友人」が 69.4%と最も高くなっています。年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「友人」が減少し、「配偶者」に聞いてもらう割合が増加しています。

図 4.59 心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも可）/性別/年齢別/圏域別

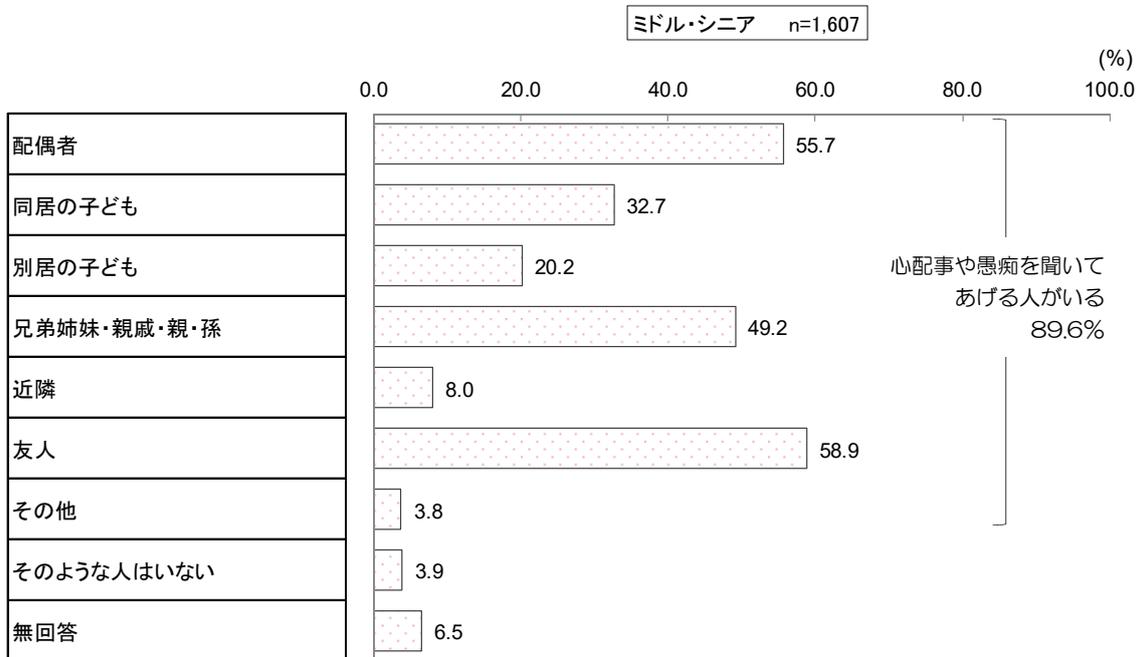
単位：%

項目	回答者数(人)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	はいない	そのような人	無回答
全体	1,607	55.1	29.4	19.0	39.8	6.0	59.9	3.8	5.2	6.3	
性別	男性	664	61.6	18.1	10.5	26.1	3.2	46.4	3.3	8.1	5.1
	女性	943	50.6	37.4	24.9	49.5	8.1	69.4	4.1	3.2	7.2
年齢別	50-54 歳	566	53.9	34.3	11.7	44.5	4.6	62.0	5.5	4.4	5.5
	55-59 歳	551	55.7	29.2	18.1	40.3	7.3	60.4	2.5	5.1	6.4
	60-64 歳	484	56.0	23.8	28.5	33.5	6.4	56.6	3.3	6.4	7.2
圏域別	富坂地区	521	53.0	25.7	19.4	41.1	5.2	60.7	3.1	5.8	6.7
	大塚地区	356	60.4	33.1	19.4	36.2	6.5	59.6	3.4	5.1	6.2
	本富士地区	354	54.0	31.1	18.9	44.4	5.6	61.6	4.2	5.1	5.9
	駒込地区	376	54.3	29.5	18.1	37.2	7.2	57.4	4.8	4.8	6.4

問 25 心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人

心配事や愚痴を聞いてあげる人がいる割合は 89.6%で、「友人」が 58.9%と最も高く、次いで「配偶者」が 55.7%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 49.2%となっています。

図 4.60 心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも可）



※ その他【抜粋】 会社の同僚、  
 ※ 「心配事や愚痴を聞いてあげる人がいる」=100%－「そのような人はいない」－「無回答」

性別では、男性は「配偶者」が 63.7%、女性は「友人」が 68.4%と最も高くなっています。年齢別にみると、年齢が若いほど「友人」の割合が高くなっています。圏域別にみると、どの圏域も「友人」、「配偶者」の割合が高いものの、本富士地区においては「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合も半数以上と高くなっています。

図 4.61 心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも可）/性別/年齢別/圏域別

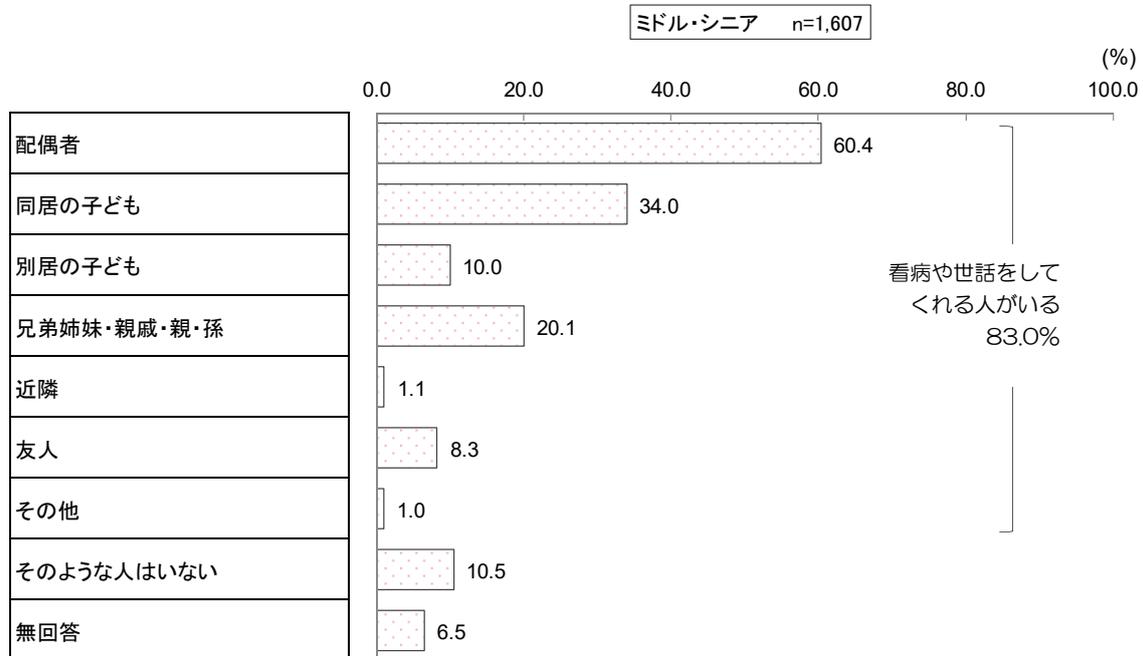
単位：%

項目	回答者数(人)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	はいない	そのような人	無回答
全体	1,607	55.7	32.7	20.2	49.2	8.0	58.9	3.8	3.9	6.5	
性別	男性	664	63.7	24.2	12.7	36.4	4.1	45.5	3.5	6.0	5.4
	女性	943	50.1	38.6	25.6	58.2	10.7	68.4	4.0	2.4	7.3
年齢別	50-54歳	566	55.3	39.6	13.1	52.7	7.4	61.7	4.9	3.5	5.7
	55-59歳	551	55.0	31.0	20.7	51.2	8.3	59.3	3.4	3.3	6.5
	60-64歳	484	57.0	26.2	28.1	42.8	8.3	55.2	2.9	5.2	7.4
圏域別	富坂地区	521	53.2	28.8	20.5	48.2	6.3	60.7	2.9	4.6	7.1
	大塚地区	356	63.2	38.2	20.8	46.3	8.7	57.9	4.5	3.1	6.2
	本富士地区	354	54.8	33.1	19.5	55.9	8.2	60.2	3.7	3.4	5.6
	駒込地区	376	52.9	32.4	19.9	47.1	9.3	56.4	4.5	4.3	6.9

問 26 病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人

病気に時に看病や世話をしてくれる人がいる割合は 83.0%で、「配偶者」が 60.4%と最も高く、次いで「同居の子ども」が 34.0%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 20.1%となっています。

図 4.62 病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも可）



※ その他【抜粋】 パートナー、職場の同僚  
 ※ 「看病や世話をしてくれる人がいる」=100%－「そのような人はいない」－「無回答」

性別では、女性は「同居の子ども」の割合が男性と比べて 17 ポイントほど高くなっています。年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が減少するほか、「同居の子ども」の割合が減少し「別居の子ども」の割合が増加しています。圏域別にみると、大塚地区では「配偶者」、本富士地区では「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が他と比べて高くなっています。

図 4.63 病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも可）  
 /性別/年齢別/圏域別

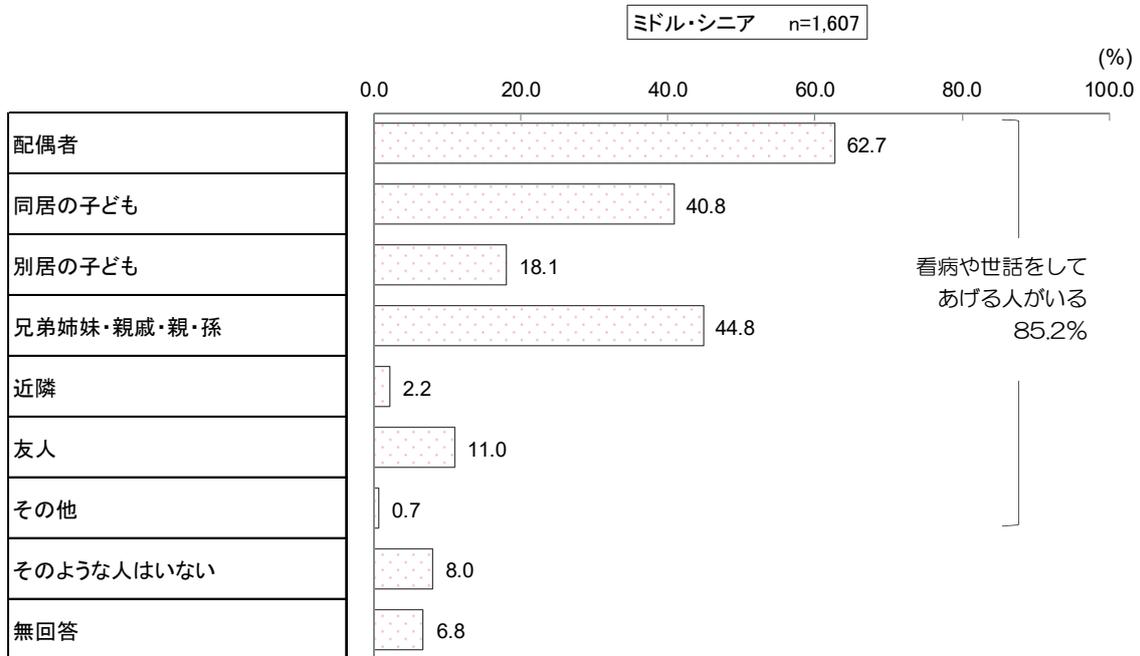
単位：%

項目		回答者数(人)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	はいない	そのような人	無回答
全体		1,607	60.4	34.0	10.0	20.1	1.1	8.3	1.0	10.5	6.5	
性別	男性	664	69.6	23.8	6.5	14.2	0.9	5.9	0.9	11.9	5.1	
	女性	943	54.0	41.3	12.4	24.3	1.2	10.1	1.1	9.4	7.5	
年齢別	50-54 歳	566	60.1	38.5	6.0	23.7	0.5	7.4	0.9	12.0	5.8	
	55-59 歳	551	61.0	35.4	9.6	20.0	1.6	9.4	0.7	8.7	6.7	
	60-64 歳	484	60.1	26.9	15.1	15.9	1.0	8.3	1.4	10.7	7.0	
圏域別	富坂地区	521	57.4	31.1	10.0	19.4	1.0	9.4	0.6	10.6	6.9	
	大塚地区	356	65.2	36.0	9.0	19.7	0.6	5.6	1.4	7.6	6.2	
	本富士地区	354	60.7	35.6	11.6	24.3	0.6	9.3	0.6	11.6	6.2	
	駒込地区	376	59.8	34.8	9.3	17.6	2.1	8.5	1.6	12.0	6.6	

問 27 看病や世話をしあける人

看病や世話をしあける人がいる割合は85.2%で、してくれる人と同じく「配偶者」が62.7%と最も高くなっていますが、2番目は「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が44.8%で多く、続いて「同居の子ども」が40.8%の順となっています。

図 4.64 看病や世話をしあける人（いくつでも可）



※ パートナー、会社の同僚  
 ※ 「看病や世話をしあける人がいる」=100%－「そのような人はいない」－「無回答」

性別では、男性、女性とも「配偶者」が最も高くなっていますが、女性に比べ男性は66.9%と高くなっています。女性は「同居の子ども」、「別居の子ども」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、「近隣」、「友人」とも、男性より高くなっています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「同居の子ども」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が減少し、代わって「別居の子ども」の割合が高くなっています。圏域別にみると、大塚地区は「配偶者」、「同居の子ども」が他の圏域と比べて高くなっています。

図 4.65 看病や世話をしあける人（いくつでも可）/性別/年齢別/圏域別

単位：%

項目	回答者数(人)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	はいない	そのような人	無回答
全体	1,607	62.7	40.8	18.1	44.8	2.2	11.0	0.7	8.0	6.8	
性別	男性	664	66.9	34.0	10.7	28.9	0.6	6.8	0.9	11.4	5.9
	女性	943	59.8	45.5	23.3	56.0	3.4	14.0	0.6	5.5	7.4
年齢別	50-54歳	566	63.1	49.8	12.0	47.9	2.3	11.1	0.7	7.8	6.0
	55-59歳	551	62.8	40.8	18.9	47.4	2.5	10.7	0.5	6.2	6.7
	60-64歳	484	62.2	30.0	24.4	38.2	1.9	11.0	0.8	10.3	7.6
圏域別	富坂地区	521	60.8	36.7	19.2	43.2	1.7	10.9	0.6	7.9	7.1
	大塚地区	356	68.0	46.3	19.1	45.8	2.0	9.8	0.8	5.9	6.5
	本富士地区	354	61.3	40.1	16.4	50.8	2.8	12.1	0.8	9.3	5.9
	駒込地区	376	61.7	41.8	17.3	40.4	2.7	11.2	0.8	8.8	7.4